

「葛飾区教育振興基本計画」の策定に向けた
区の教育振興に関するアンケート調査

報告書【概要版】

令和5年3月
葛飾区教育委員会



目次

I	調査概要	1
1	調査名称	1
2	調査の目的	1
3	調査の実施概要	1
4	回答者一覧	2
II	調査結果（報告書 第2～6章の概要）	3
1	幼稚園・保育園等保護者調査結果の概要【報告書 第2章】	3
2	幼稚園・保育園等教職員調査結果の概要【報告書 第3章】	7
3	区立小・中学生保護者調査結果の概要【報告書 第4章】	10
4	区立小・中学校教員調査結果の概要【報告書 第5章】	16
5	社会教育関係者調査結果の概要【報告書 第6章】	21
III	分析編（報告書 第7章の概要）	26
1	「かつしかっ子」宣言の認知度	26
2	家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）	27
3	I C T機器の導入効果（小・中学校）	28
4	I C T活用に期待する効果（小・中学校）	29
5	学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待	30

I 調査概要

1 調査名称

「葛飾区教育振興基本計画」の策定に向けた区の教育振興に関するアンケート調査

2 調査の目的

本調査は、令和5年度に葛飾区教育振興基本計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）を策定するにあたり、現在の計画「かつしか教育プラン（2019～2023）葛飾区教育振興基本計画」の検証及び新たな取組を検討する基礎的なデータを把握することを目的に、幼稚園・保育園・認定こども園の保護者及び教職員、区立小・中学校の保護者及び教員、社会教育関係者を対象に調査を実施しました。

3 調査の実施概要

(1) 調査対象

番号	対象	略称
1	区内（公立、私立を含む）の幼稚園、保育園、認定こども園の年長クラス（5歳児）に通っている子どもの保護者	幼稚園・保育園等保護者調査
2	区内（公立、私立を含む）の幼稚園、保育園、認定こども園の教員または保育士	幼稚園・保育園等教職員調査
3	区立小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者	区立小・中学生保護者調査
4	区立小・中学校の教員	区立小・中学校教員調査
5	社会教育関係者	社会教育関係者調査

(2) 調査基準日

令和4年10月1日

(3) 調査方法

- 調査1、2、3、4は、学校、幼稚園、保育園、認定こども園を通じて、調査票を配付
- 調査5は、対象者に郵送で調査票を配付
- 回答方法（全調査共通）は、調査票の郵送回答、もしくは、調査専用サイトのインターネット回答を併用（回答者が回答方法を任意に選ぶ方法）して実施

(4) 調査期間

- 調査1、2、3、4、5は、令和4年10月19日（水）～11月7日（月）
WEB回答のみ期間を延長し、12月13日（火）到着分まで受付

(5) 回収数

番号	調査	対象	配付数	回収数（郵送／WEB）	回収率
1	幼稚園・保育園等保護者調査	抽出	1,552人	432人（156/276）	27.8%
2	幼稚園・保育園等教職員調査	悉皆	270人	145人（30/115）	53.7%
3	区立小・中学生保護者調査	抽出	3,692人	1,535人（406/1,129）	41.6%
4	区立小・中学校教員調査	悉皆	1,761人	1,085人（409/676）	61.6%
5	社会教育関係者調査	抽出※	914人	420人（310/110）	46.0%

※区内関係課より提出された関係者等に調査票を配付しました。

4 回答者一覧

回答者合計に対する属性別回答割合を示す

1 幼稚園・保育園等保護者調査									
回答者合計	区立幼稚園	私立幼稚園	区立保育園	私立保育園	認定こども園	無回答			
432人	6.5%	40.3%	24.1%	12.7%	15.5%	0.9%			
2 幼稚園・保育園等教職員調査									
回答者合計	区立幼稚園	私立幼稚園	区立保育園	私立保育園	認定こども園	無回答			
145人	2.1%	15.9%	51.0%	13.8%	15.9%	1.4%			
3 区立小・中学生保護者調査									
回答者合計	小学2年生	小学5年生	中学2年生	無回答					
1,535人	36.0%	37.4%	25.2%	1.4%					
4 区立小・中学校教員調査									
回答者合計	小学校	中学校	無回答						
1,085人	63.4%	35.8%	0.8%						
5 社会教育関係者調査									
回答者合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
420人	0.2%	0.5%	1.4%	10.7%	26.4%	27.1%	24.5%	8.1%	1.0%

II 調査結果（報告書 第2～6章の概要）

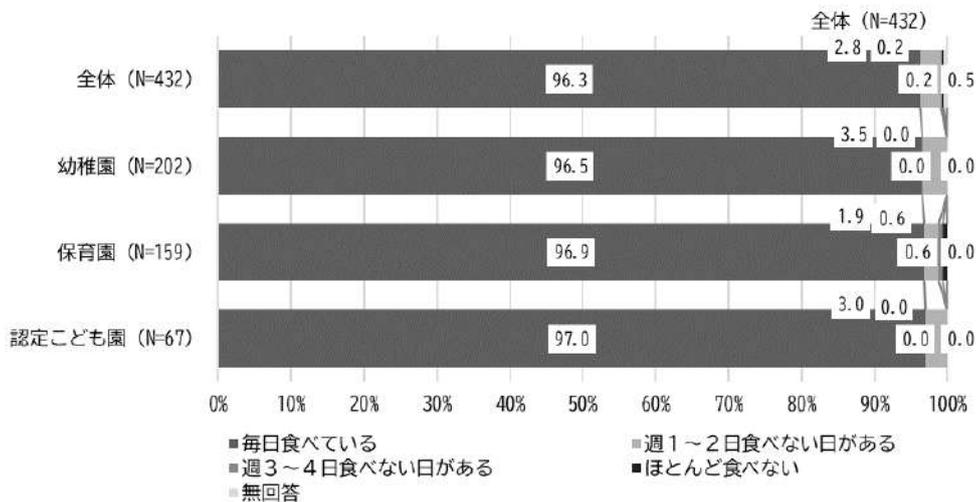
1 幼稚園・保育園等保護者調査結果の概要【報告書 第2章】

回答者属性（お子さんが通っている園）

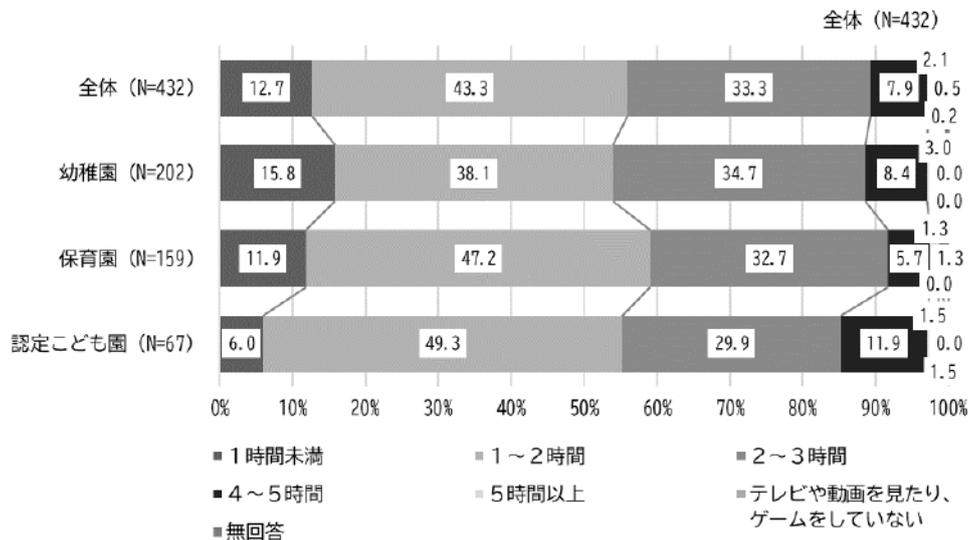
- （問1）お子さんが通っている園は、幼稚園（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は46.8%、保育園（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）は36.8%、「認定こども園」が15.5%です。
- （問2）お子さんの小学生以上の兄弟姉妹の「いる」割合は、幼稚園では50.5%、保育園では49.7%、認定こども園では44.8%です。

1 家庭でのお子さんの様子や育児・家庭教育等についてお聞きします。

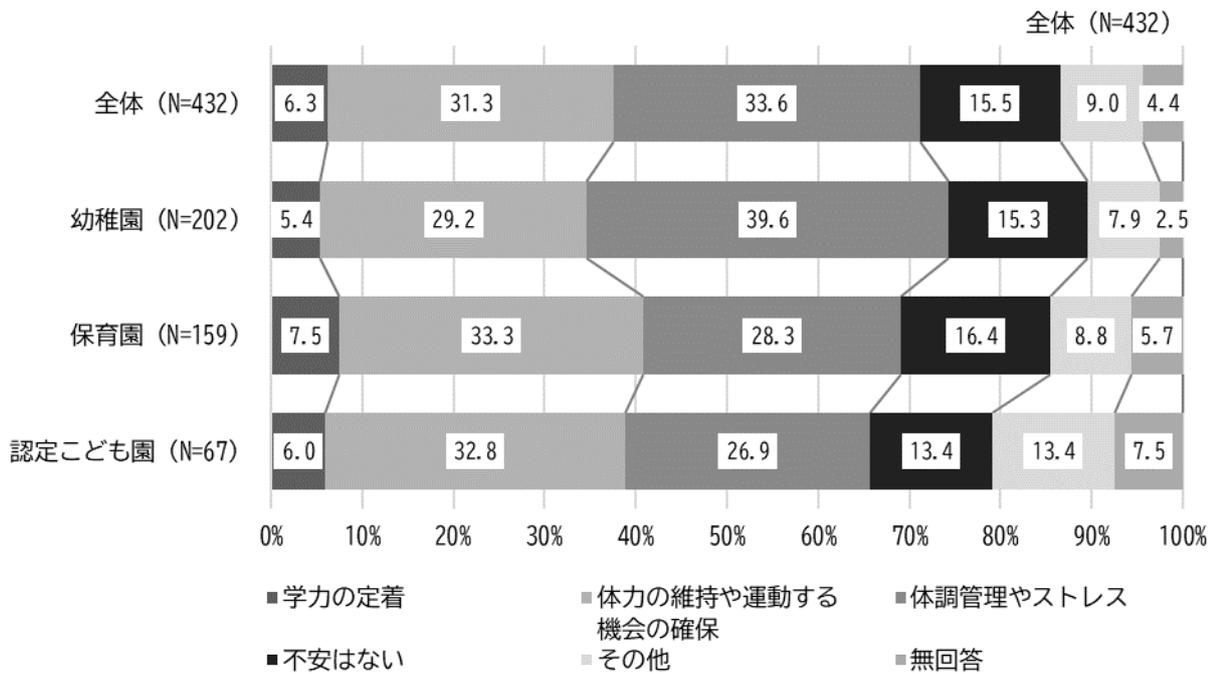
- （問3）お子さんが朝食を「毎日食べている」割合は96.3%です。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんでも95%を超えています。



- （問7）お子さんの一日のテレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間は、幼稚園では「1～2時間」が38.1%、保育園では「1～2時間」が47.2%、認定こども園では「1～2時間」が49.3%と最も多くなっています。

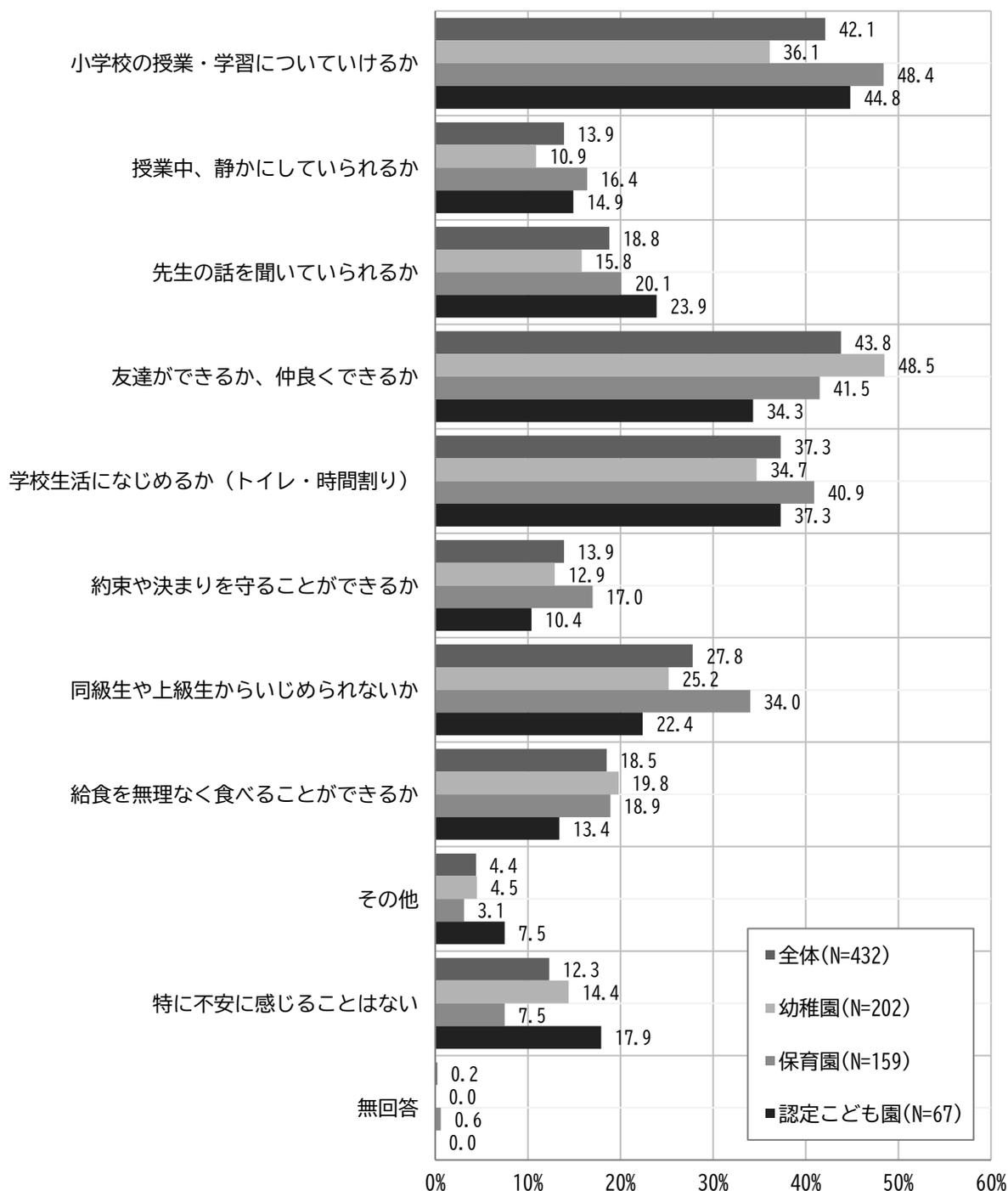


- (問 8) 家庭教育に関して満足している区の実践は、全体で「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための実践」が62.5%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。
- (問 9) コロナ禍の暮らしでお子さんのことで特に不安なことは、幼稚園では「体調管理やストレス」が39.6%、保育園では「体力の維持や運動する機会の確保」が33.3%、認定こども園では「体力の維持や運動する機会の確保」が32.8%と最も多くなっています。

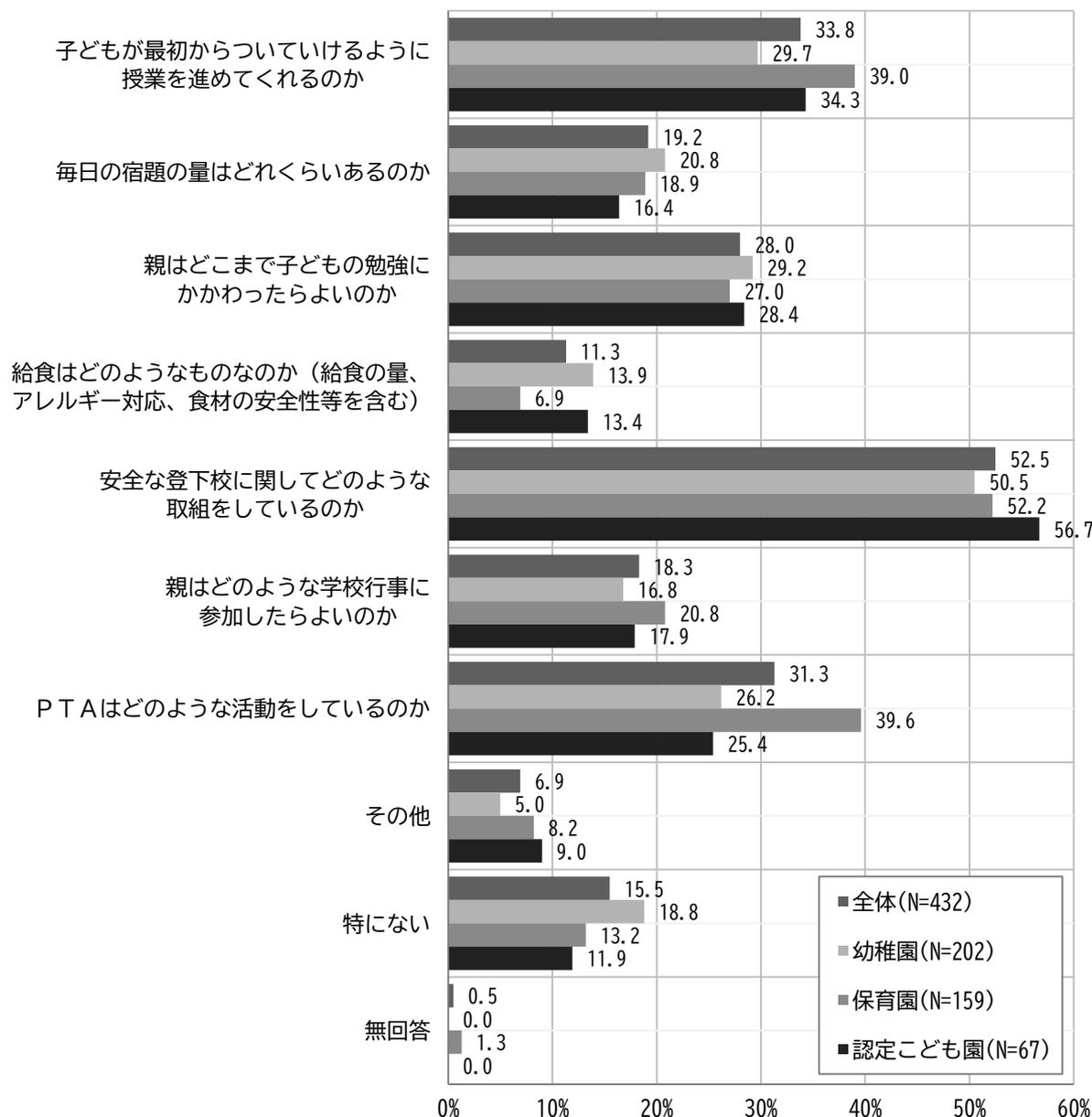


2 お子さんの小学校入学についてお聞きします。

- (問 10) お子さんの小学校入学に向けて特に不安に感じることは、幼稚園では「友達ができるか、仲良くできるか」が48.5%、保育園では「小学校の授業・学習についていけるか」が48.4%、認定こども園では「小学校の授業・学習についていけるか」が44.8%と最も多くなっています。何らかの不安を感じている保護者は、幼稚園では85.6%、保育園では91.9%、認定こども園では82.1%です。(全体から「特に不安に感じることはない」と「無回答」を除いて算出しました。)

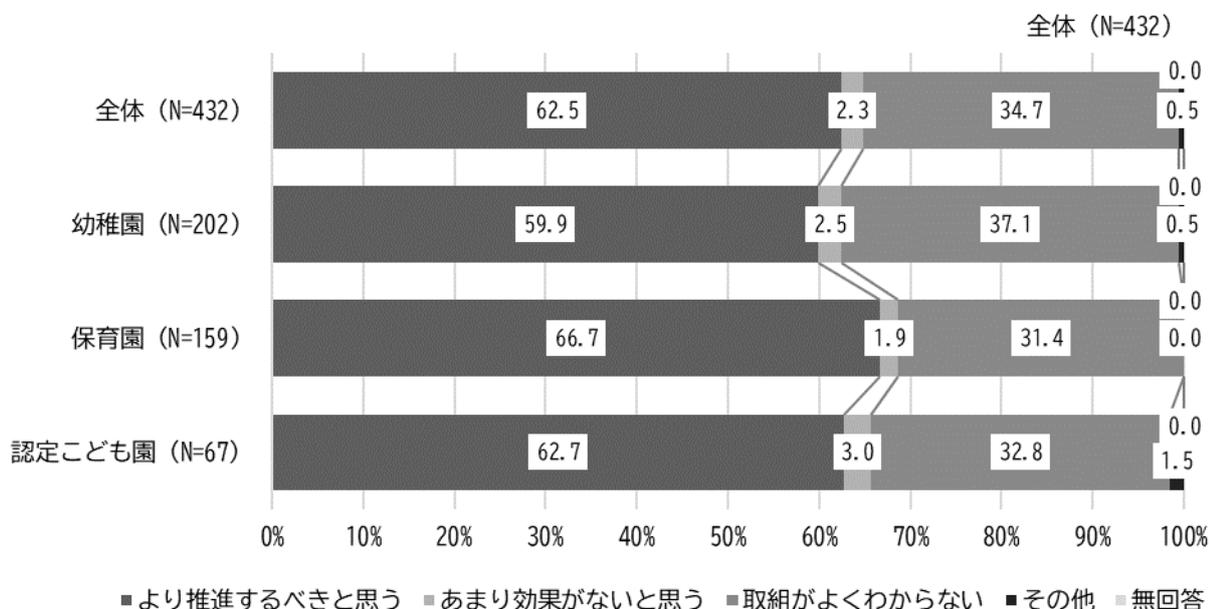


- (問 11) お子さんの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組は、全体で「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が48.6%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。
- (問 12) お子さんが通う予定の小学校に関して事前に知りたいことは、全体で「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が52.5%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。何らかの情報提供を求めている保護者は、幼稚園では81.2%、保育園では85.5%、認定こども園では88.1%です。(全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出しました。)



3 区の実践についてお聞きします。

- (問 16) 「かつしかっ子」宣言を「知っている」の割合は、幼稚園では 43.6%、保育園では 37.1%、認定こども園では 26.9%です。
- (問 18) 幼保小中連携教育の推進についての考えは、全体で「より推進するべきと思う」が 62.5%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。



4 生涯学習、スポーツについてお聞きします。

- (問 21) 「かつしか区民大学」の認知度は、全体で「知らない」が 70.8%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。
- (問 22) 興味や関心がある生涯学習活動は、全体で「図書館の利用」が 44.7%と最も多くなっています。幼稚園、保育園、認定こども園のお子さんのいる家庭でも同じ傾向です。何らかの生涯学習活動に興味・関心がある保護者は、幼稚園では 81.7%、保育園では 88.0%、認定こども園では 94.0%です。(全体から「特に興味・関心ない」と「無回答」を除いて算出しています。)

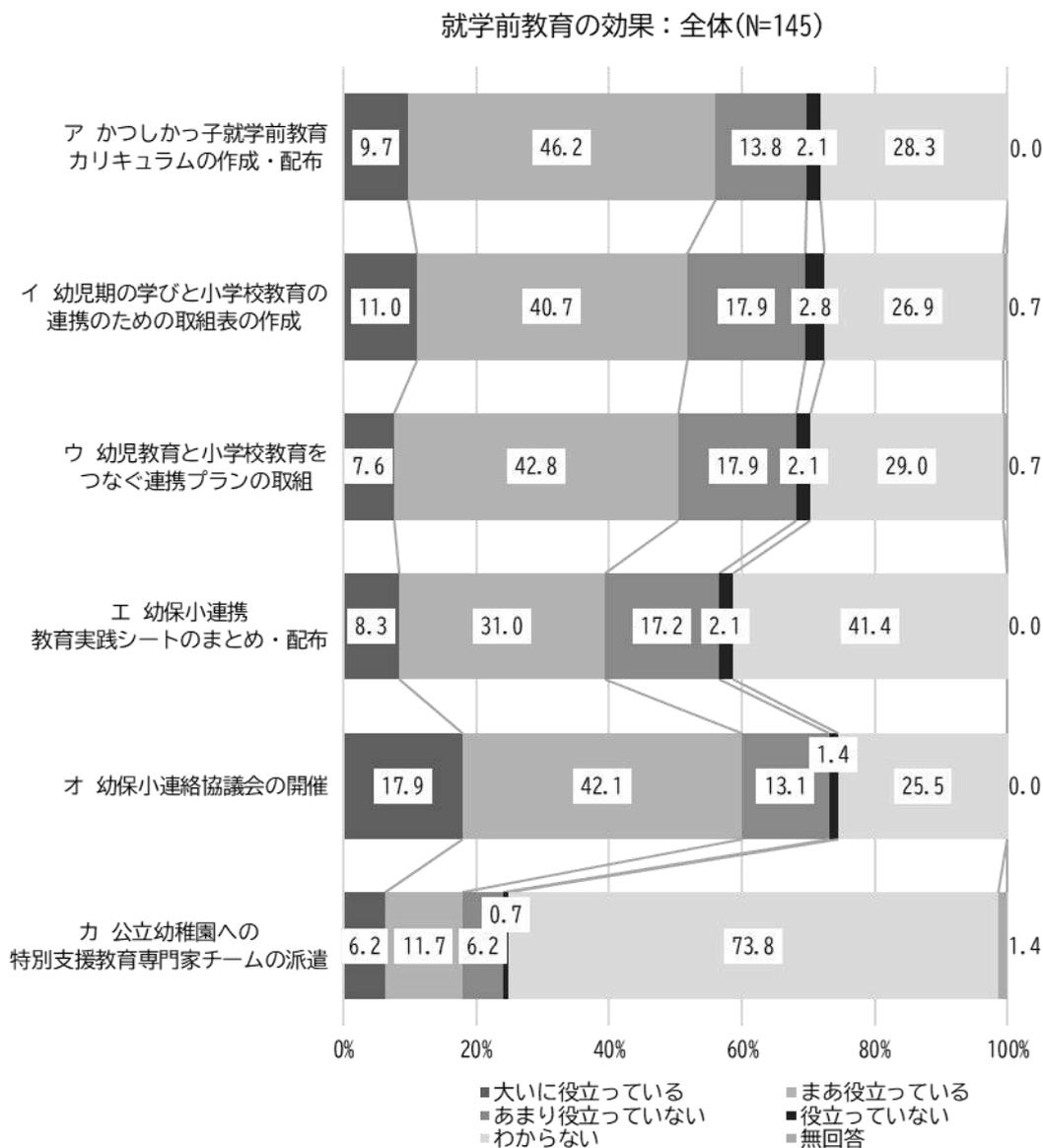
2 幼稚園・保育園等教職員調査結果の概要【報告書 第3章】

1 あなた自身のことについてお聞きします。

- (問 1) 回答者の勤務先は、幼稚園（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は 18.0%、保育園（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）は 64.8%、「認定こども園」が 15.9%です。
- (問 2) 幼稚園教諭または保育士としての経験年数は、全体で「19年以上」が 46.2%と最も多くなっています。幼稚園、保育園の教職員も同じ傾向です。認定こども園では「6年以下」が 73.9%と最も多くなっています。

2 幼保小中連携や就学前教育の取組についてお聞きします。

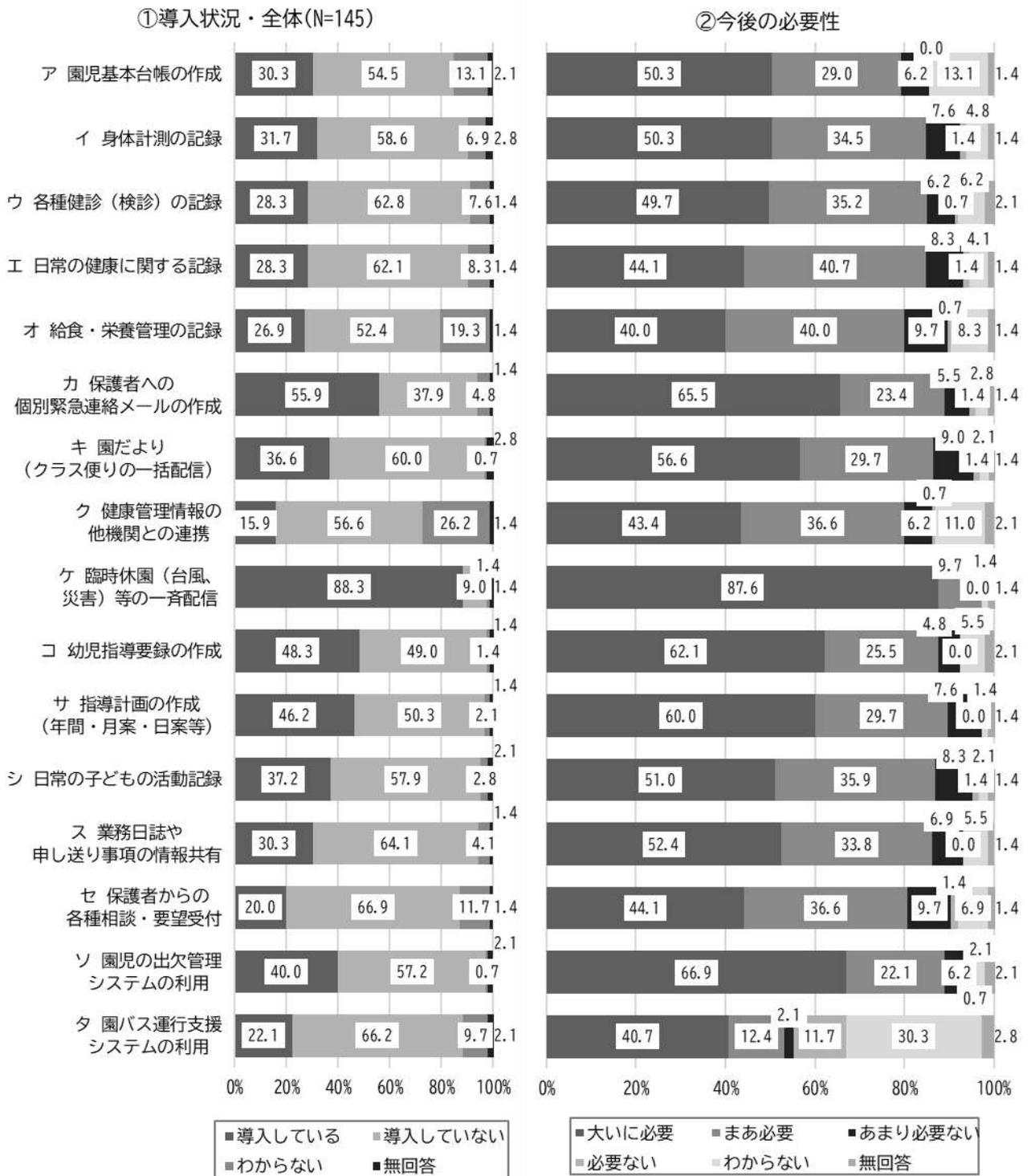
- (問4)「かつしかっ子」宣言を「知っている」の割合は、幼稚園では42.3%、保育園では84.0%、認定こども園では30.4%です。
- (問5) 就学前教育について役に立っている取組(「大いに役立っている」と「まあ役立っている」の合計)は、全体で「オ 幼保小連絡協議会の開催」が60.0%と最も多くなっています。幼稚園では「ウ 幼児教育と小学校教育をつなぐ連携プランの取組」と「オ 幼保小連絡協議会の開催」が53.8%、保育園では「ア かつしかっ子就学前教育カリキュラムの作成・配布」が66.0%、認定こども園では「オ 幼保小連絡協議会の開催」が65.2%と最も多くなっています。



- (問6) 家庭教育の取組で重要だと考えている取組(「重要」と「まあ重要」の合計)は、幼稚園では「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」が80.8%、保育園では「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」と「キ 「あいさつ運動」の実施」が91.5%、認定こども園では「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が91.3%と最も多くなっています。

3 ICTの活用についてお聞きします。

- (問7) ①ICTを導入している取組は、全体で「ケ 臨時休園(台風、災害)等の一斉配信」が88.3%と最も多くなっています。幼稚園では「ケ 臨時休園(台風、災害)等の一斉配信」が80.8%、保育園では「ケ 臨時休園(台風、災害)等の一斉配信」が88.3%、認定こども園では「キ 園だより(クラス便りの一括配信)」、「ケ 臨時休園(台風、災害)等の一斉配信」、「コ 幼児指導要録の作成」、「サ 指導計画の作成(年間・月案・日案等)」、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」が100.0%と最も多くなっています。



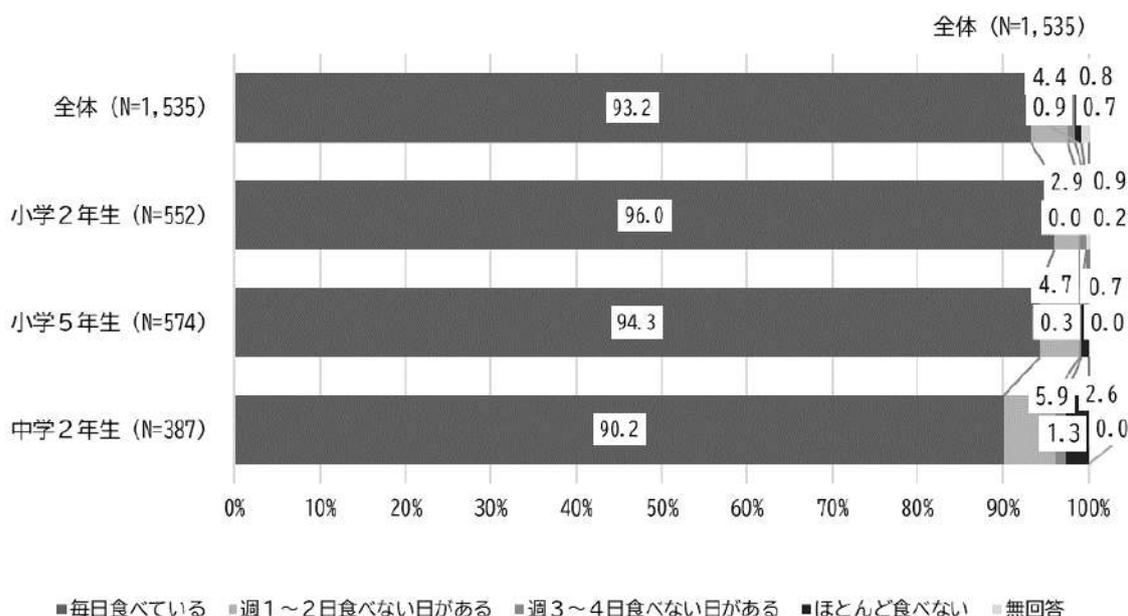
3 区立小・中学生保護者調査結果の概要【報告書 第4章】

回答者属性（お子さんの学年）

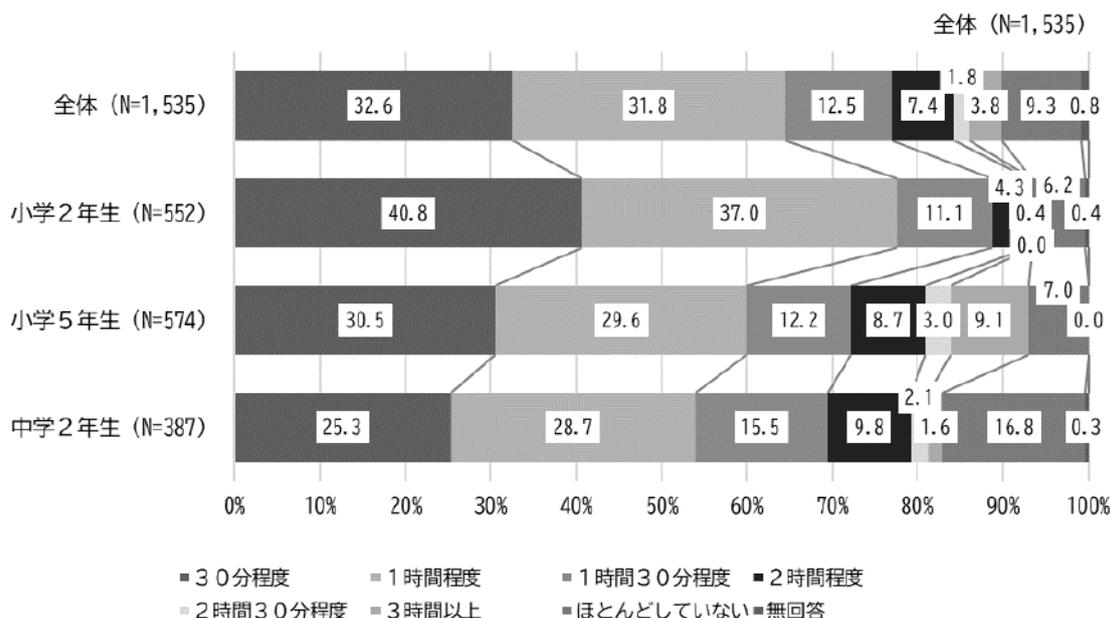
○（問1）お子さんの学年は、「小学2年生」は36.0%、「小学5年生」は37.4%、「中学2年生」は25.2%です。

1 家庭教育についてお聞きします。

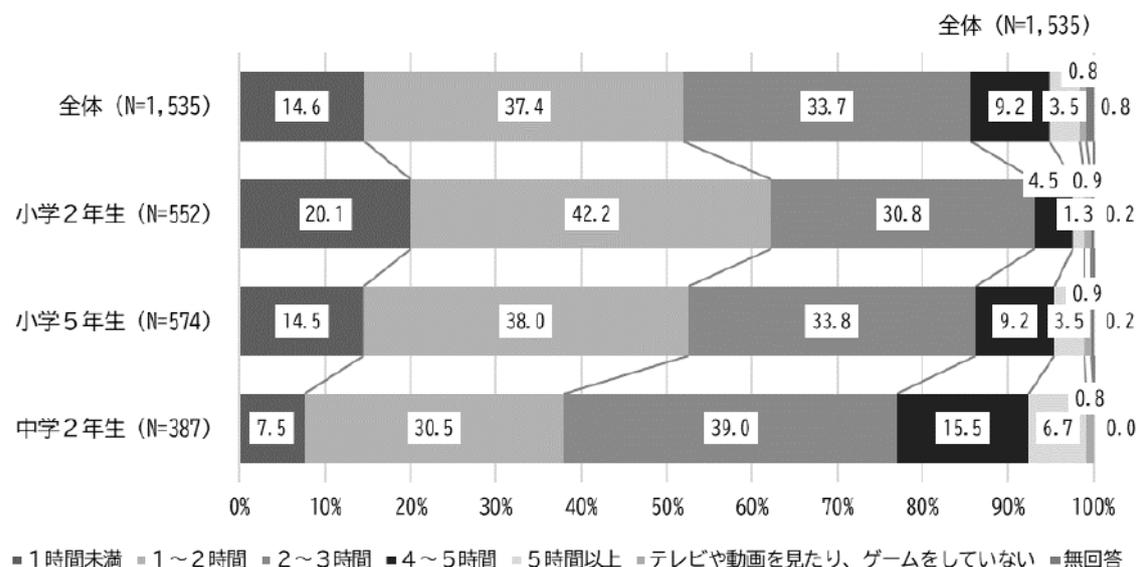
○（問2）お子さんが朝食を「毎日食べている」割合は93.2%で最も多くなっています。小学2年生、小学5年生、中学2年生も90%を超えています。



○（問4）お子さんの1日の平均勉強時間（学校の授業以外）は、小学2年生では「30分程度」が40.8%、小学5年生では「30分程度」が30.5%、中学2年生では「1時間程度」が28.7%と最も多くなっています。

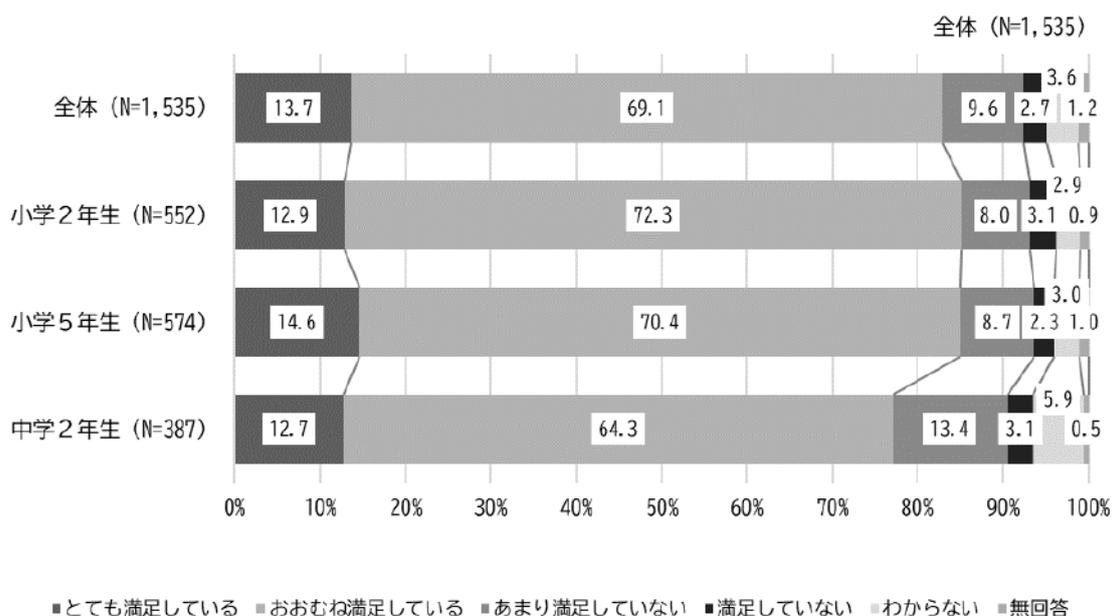


- (問 8) お子さんの一日のテレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間は、小学 2 年生では「1～2 時間」が 42.2%、小学 5 年生では「1～2 時間」が 38.0%、中学 2 年生では「2～3 時間」が 39.0%と最も多くなっています。



2 お子さんが通っている学校のことについてお聞きします。

- (問 9) お子さんが通っている学校の教育活動に満足している保護者(「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計)は、小学 2 年生で 85.2%、小学 5 年生で 85.0%、中学 2 年生では 77.0%です。



- (問 12) 「かつしかっ子」宣言を「知っている」の割合は、小学 2 年生で 68.3%、小学 5 年生で 78.6%、中学 2 年生で 73.9%です。

3 学校教育についてお聞きします。

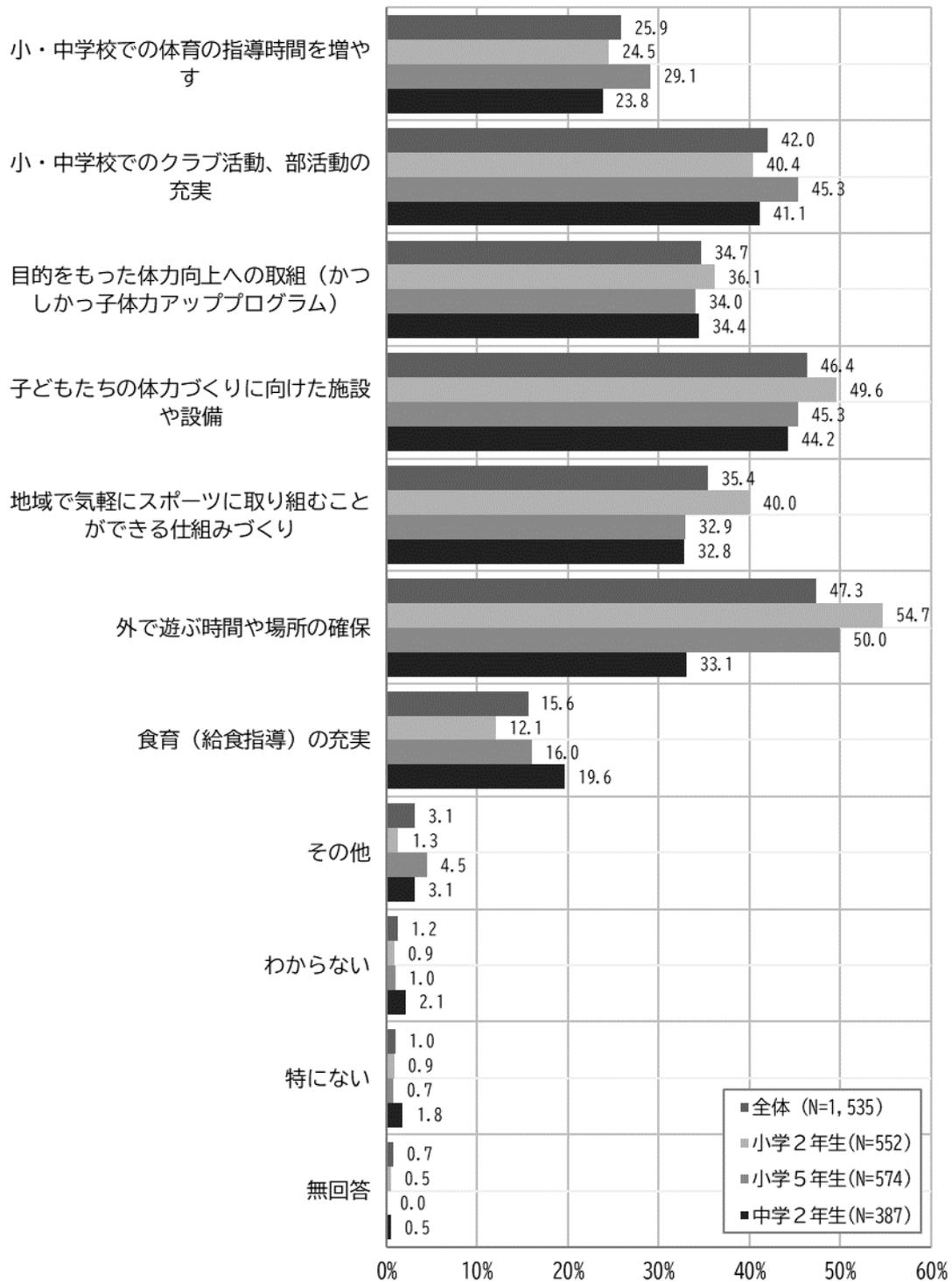
- (問 14) 子どもの学力向上や豊かな人間性を育む取組について、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- 小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者でも同じ傾向です。また、満足している保護者が最も多い項目は、小学2年生では「ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組」（78.8%）、小学5年生では「シ 文化的連合行事の実施」（85.7%）、中学2年生では「キ 「あいさつ運動」の実施」（80.1%）です。

【全体及び各学年で満足している項目 上位5位】

順位	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	キ 「あいさつ運動」の実施	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	シ 文化的連合行事の実施	キ 「あいさつ運動」の実施
	78.3%	78.8%	85.7%	80.1%
2	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	キ 「あいさつ運動」の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施
	75.6%	75.0%	82.1%	78.6%
3	シ 文化的連合行事の実施	コ 道徳教育の充実	キ 「あいさつ運動」の実施	シ 文化的連合行事の実施
	75.1%	67.9%	80.7%	78.3%
4	コ 道徳教育の充実	シ 文化的連合行事の実施	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	ア 各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
	69.3%	62.1%	76.5%	76.7%
5	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	ス 体育的連合行事の実施	カ 「かつしか郷土かるた」や区歌斉唱等、郷土愛を醸成するための取組	ス 体育的連合行事の実施
	68.1%	54.5%	75.7%	73.7%

- (問 15) 子どもの学力向上や豊かな人間性を育むための人材配置について、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者でも同じ傾向です。また、満足している保護者が最も多い項目は、小学2年生では「ウ 学校司書」（53.8%）、小学5年生では「ウ 学校司書」（62.2%）、中学2年生では「ア スクールカウンセラー」（60.0%）です。

- (問 16) 今後、子どもたちの体力向上に特に必要なことは、小学2年生では「外で遊ぶ時間や場所の確保」が54.7%、小学5年生では「外で遊ぶ時間や場所の確保」が50.0%、中学2年生では「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備」が44.2%と最も多くなっています。



4 学校と地域の連携についてお聞きします。

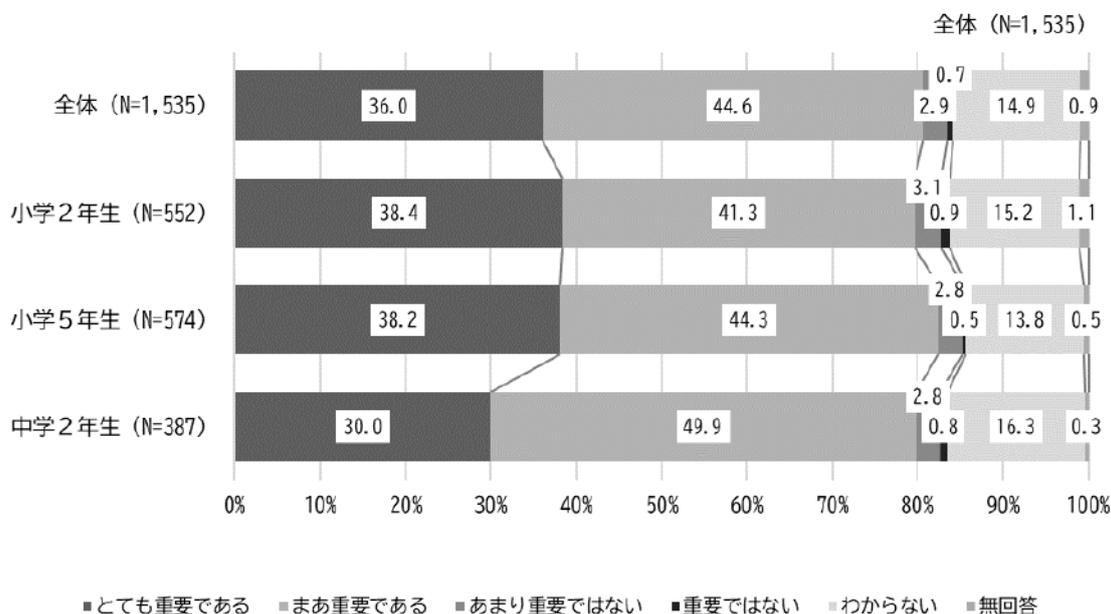
- (問 20) 今後、参加したい学校支援の活動は、全体で「特にない」が 32.2%と最も多くなっています。小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の保護者でも同じ傾向です。また、「特にない」を除くと、小学 2 年生では「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 25.0%、小学 5 年生では「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 27.7%、中学 2 年生では「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」が 22.2%となっています。
- (問 21) 子どもの健やかな成長に向けて地域に期待することは、全体で「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 65.9%と最も多くなっています。小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の保護者でも同じ傾向です。

5 ICTの活用についてお聞きします。

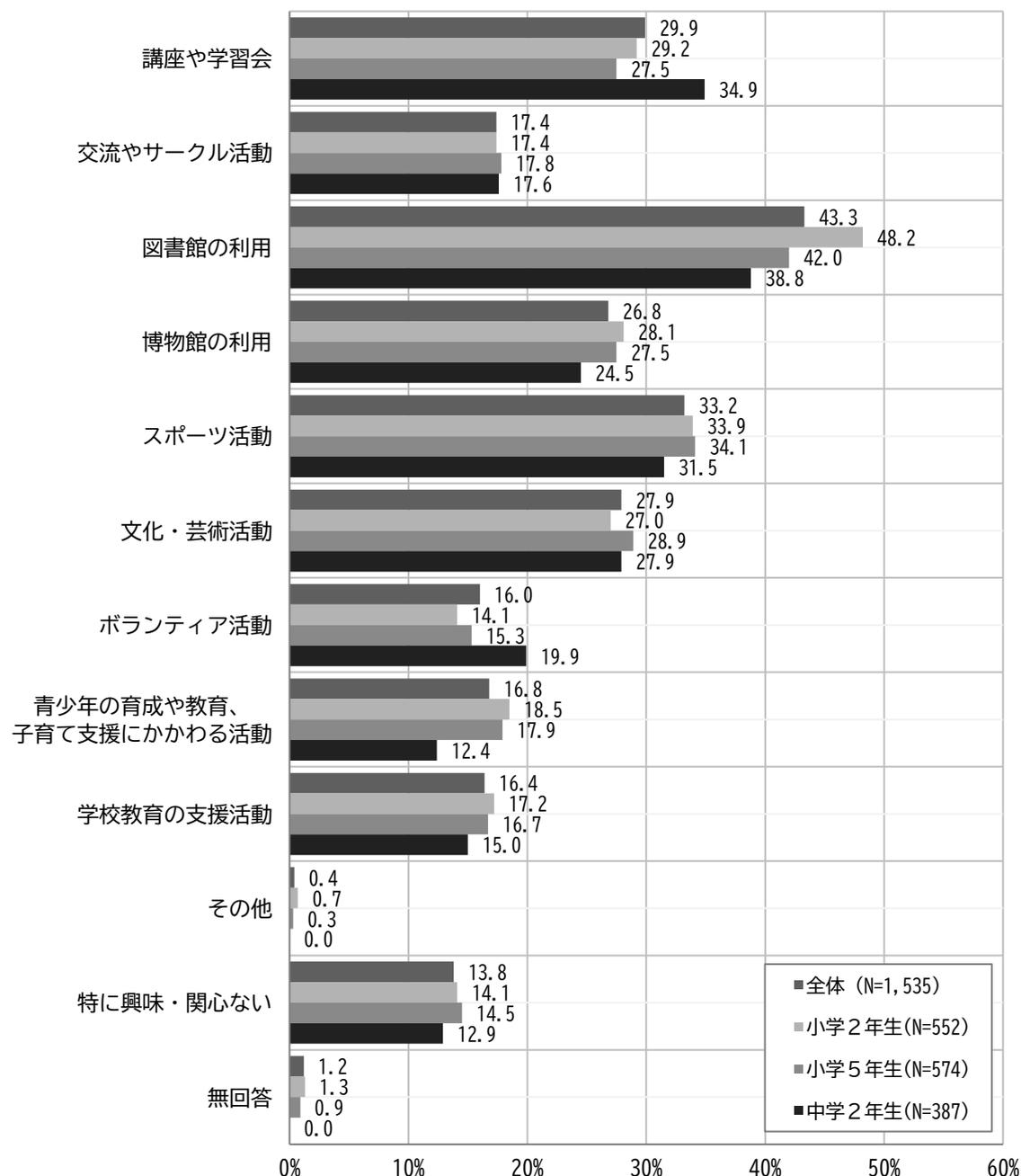
- (問 22) 学校教育への ICT 機器の導入効果について、子どもたちの学習意欲が高まったと思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）は全体で 60.4%となっています。小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の保護者でも同じ傾向です。
- (問 23) 学校教育における ICT の活用で特に期待する効果は、小学 2 年生では「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が 35.0%、小学 5 年生では「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が 36.2%、中学 2 年生では「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が 31.5%と最も多くなっています。

6 生涯学習、スポーツについてお聞きします。

- (問 24) 区が学びの循環（区民が学んだことが地域活動やボランティア活動に結び付き、それらの活動を通してさらに学びが深まる学びのサイクル）に力を入れることに対する考えは、重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が全体で 80.6%となっています。小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の保護者でも同じ傾向です。



- (問 26) 興味や関心がある生涯学習活動は、「図書館の利用」が43.3%と最も多くなっています。小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者でも同じ傾向です。



- (問 28) スポーツや運動をしたい機会や場所は、全体で「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が48.0%と最も多くなっています。小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者でも同じ傾向です。

7 ここから、小学生の保護者の方のみにお聞きします。

- (問 29) 小学校卒業後に予定している進学先は、小学2年生では「区内の公立中学校」が58.7%と最も多く、ついで「まだ決めていない」が20.7%、「私立中学校・中高一貫校」が12.1%で続きます。小学5年生では「区内の公立中学校」が66.6%と最も多く、ついで「私立中学校・中高一貫校」が16.9%、「まだ決めていない」が8.0%で続きます。

4 区立小・中学校教員調査結果の概要【報告書 第5章】

1 あなたご自身のことについてお聞きします。

- (問1) 回答者の勤務先は、「小学校」は63.4%、「中学校」は35.8%です。
- (問2) 回答者の職名は、全体で「管理職」(「校長」と「副校長」)は9.6%、「管理職以外」(「主幹教諭」、「指導教諭」、「主任教諭」、「教諭」、「主任養護教諭・養護教諭」、「主任栄養教諭・栄養教諭」)は89.7%です。
- (問4) 回答者の教員経験年数は、小学校では「6年以下」が35.6%と最も多く、「19年以上」が30.5%で続きます。中学校では「6年以下」と「19年以上」が各35.3%と最も多く、「7～12年以下」が18.3%で続きます。

2 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。

- (問6) 学校教育の充実を目指す65の取組について、①効果の程度、②今後の方向性に対する考えを聞きました。分野毎に、①最も効果のある取組(「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計の最上位)と、②最も充実させたい取組(「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計の最上位)を掲載します。

【小学校】

分野	取組番号	①最も効果のある取組	②最も充実させたい取組
学力向上	取組1～3	「2 漢字等検定料助成」68.9%	「1 総合的な学力向上事業」74.7%
体力向上	取組4～5	「5 体を使った遊びの奨励」62.5%	「5 体を使った遊びの奨励」76.6%
主体性・協働性を育む教育	取組6～8	「6 ICTを活用した授業」89.3%	「6 ICTを活用した授業」91.6%
人権感覚・社会性や道徳性の育成	取組9～11	「10 人権教育」69.3%	「10 人権教育」79.9%
豊かな感性と創造性の育成	取組12～14	「13 文化的行事」88.3%	「13 文化的行事」75.0%
自信と誇りをもてる子どもの育成	取組15～17	「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」80.4%	「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」83.2%
連携・協働する学校づくり	取組18～19	「19 OJTによる教員の育成」77.1%	「19 OJTによる教員の育成」78.8%
互いに高め合う教員集団の育成	取組20～24	「20 校内研究、校内研修」85.6%	「20 校内研究、校内研修」76.6%
学校を支援する体制	取組25～27	「25 学校地域応援団活動支援」74.1%	「25 学校地域応援団活動支援」74.6%
健康教育	取組28～31	「30 薬物乱用防止教室」74.1%	「30 薬物乱用防止教室」76.9%

分野	取組番号	①最も効果のある取組	②最も充実させたい取組
安全教育	取組 32～34	「34 避難訓練」 97.1%	「34 避難訓練」 90.6%
キャリア教育	取組 35～36	「36 中学生職場体験事業」 50.3%	「36 中学生職場体験事業」 53.8%
教員の資質・能力の向上	取組 37～39	「39 キャリアステージに合わせた教員研修」 62.7%	「39 キャリアステージに合わせた教員研修」 61.9%
連続する学びの場	取組 40～42	「41 小中連携教育」 71.5%	「41 小中連携教育」 67.8%
新しい時代に対応する教育	取組 43～45	「44 考える力を育てる教育」 78.7%	「44 考える力を育てる教育」 89.1%
特別支援教育	取組 46～49	「46 特別支援教室」 88.5%	「46 特別支援教室」 92.3%
いじめや不登校対応	取組 50～54	「52 スクールカウンセラーの設置」 92.0%	「52 スクールカウンセラーの設置」 94.4%
日本語指導	取組 55～57	「57 日本語通訳派遣」 70.9%	「57 日本語通訳派遣」 81.0%
学校環境	取組 58	「58 学校施設の改築」 79.6%	「58 学校施設の改築」 91.0%
I C T環境	取組 59～62	「62 I C T支援員の活用」 95.9%	「62 I C T支援員の活用」 96.6%
学びの機会	取組 63～65	「64 学校司書の活用」 92.5%	「64 学校司書の活用」 94.2%

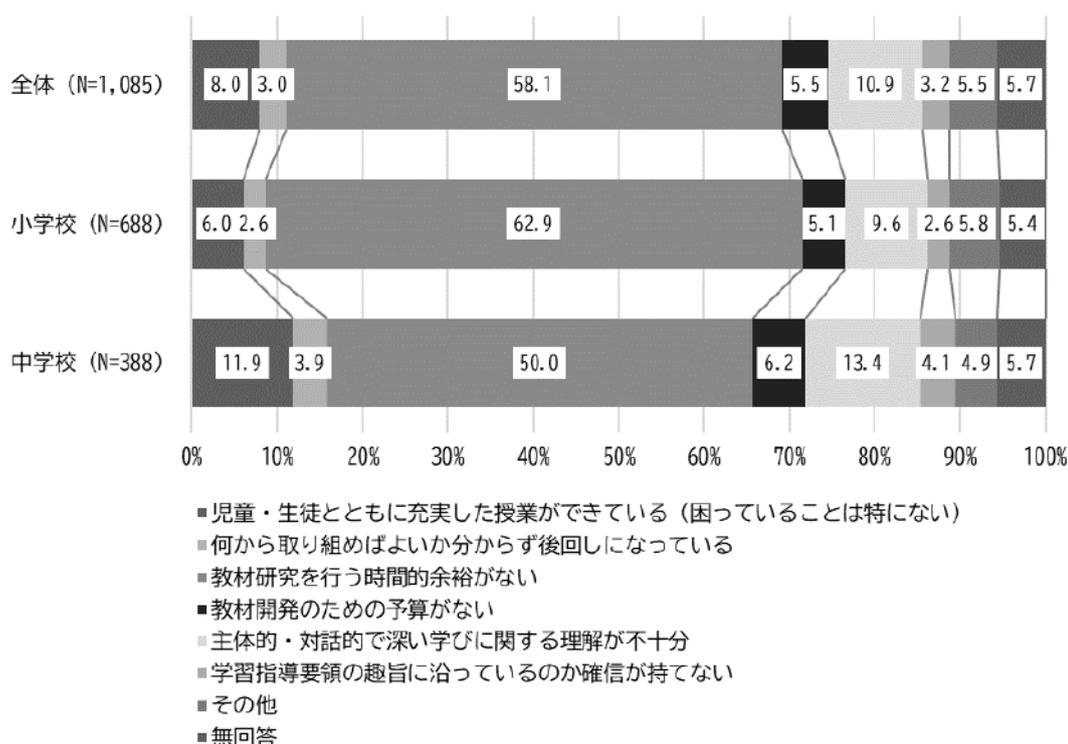
【中学校】

分野	取組番号	①最も効果のある取組	②最も充実させたい取組
学力向上	取組 1～3	「2 漢字等検定料助成」 65.5%	「1 総合的な学力向上事業」 73.9%
体力向上	取組 4～5	「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」 38.4%	「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」 54.4%
主体性・協働性を育む教育	取組 6～8	「6 I C Tを活用した授業」 86.4%	「6 I C Tを活用した授業」 90.7%
人権感覚・社会性や道徳性の育成	取組 9～11	「10 人権教育」 71.9%	「10 人権教育」 78.6%
豊かな感性と創造性の育成	取組 12～14	「13 文化的行事」 90.7% 「14 体育的行事」 90.7%	「13 文化的行事」 80.1%
自信と誇りをもてる子どもの育成	取組 15～17	「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」 85.1%	「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」 84.8%

分野	取組番号	①最も効果のある取組	②最も充実させたい取組
連携・協働する学校づくり	取組 18～19	「18 チーム学校」68.8%	「19 OJTによる教員の育成」79.2%
互いに高め合う教員集団の育成	取組 20～24	「20 校内研究、校内研修」73.2%	「20 校内研究、校内研修」73.4%
学校を支援する体制	取組 25～27	「26 課外活動指導員」72.9%	「26 課外活動指導員」82.2%
健康教育	取組 28～31	「30 薬物乱用防止教室」80.2%	「30 薬物乱用防止教室」81.1%
安全教育	取組 32～34	「34 避難訓練」90.5%	「34 避難訓練」90.2%
キャリア教育	取組 35～36	「36 中学生職場体験事業」72.9%	「36 中学生職場体験事業」64.9%
教員の資質・能力の向上	取組 37～39	「39 キャリアステージに合わせた教員研修」58.8%	「39 キャリアステージに合わせた教員研修」61.3%
連続する学びの場	取組 40～42	「41 小中連携教育」61.1%	「41 小中連携教育」64.7%
新しい時代に対応する教育	取組 43～45	「44 考える力を育てる教育」72.4%	「44 考える力を育てる教育」85.9%
特別支援教育	取組 46～49	「46 特別支援教室」82.2%	「46 特別支援教室」88.7%
いじめや不登校対応	取組 50～54	「52 スクールカウンセラーの設置」92.5%	「52 スクールカウンセラーの設置」94.1%
日本語指導	取組 55～57	「55 にほんごステップアップ教室」77.0%	「55 にほんごステップアップ教室」83.0%
学校環境	取組 58	「58 学校施設の改築」76.8%	「58 学校施設の改築」94.3%
ICT環境	取組 59～62	「62 ICT支援員の活用」96.1%	「62 ICT支援員の活用」95.4%
学びの機会	取組 63～65	「64 学校司書の活用」87.8%	「64 学校司書の活用」90.7%

- (問7) 「葛飾教育の日」の取組について、全ての取組で、効果があると思う教員(「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計)が全体で7割～8割台となっています。特に、「体験的な学習活動」に効果があると思う教員が多くなっています。

- (問 8) 授業の充実に向けて特に困っていることは、全体で「教材研究を行う時間的余裕がない」が58.1%と最も多くなっています。小学校、中学校の教員でも同じ傾向です。



3 ICTの活用についてお聞きします。

- (問 10) 学校教育へのICT機器の4つの導入効果(子どもたちの学習意欲が高まる、授業方法が改善される、校内研究が活発になる、業務の軽減につながる)について、全体では、全ての効果に肯定的に思う教員(「とても思う」と「やや思う」の合計)が多くなっています。小学校の教員では「子どもたちの学習意欲が高まる」、中学校の教員では「授業方法が改善される」に最も効果を感じています。
- (問 11) 学校教育におけるICTの活用で特に期待する効果は、全体で「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が55.2%と最も多くなっています。小学校、中学校の教員でも同じ傾向です。

4 学校と地域の連携についてお聞きします。

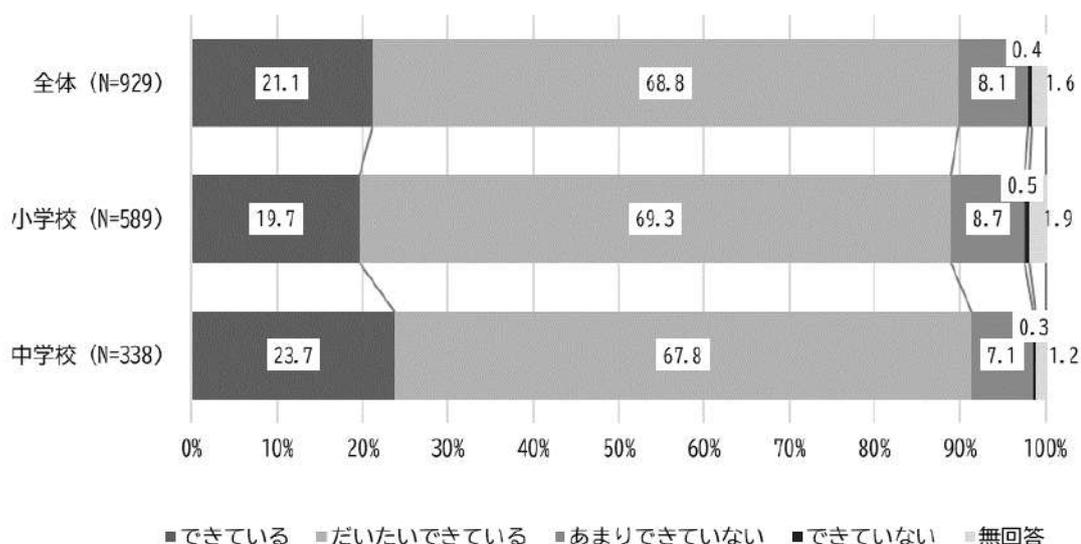
- (問 14) 学校と地域との連携を進めるため、地域・保護者に期待する活動は、小学校では「学校安全活動の支援(登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等)」が54.1%、中学校では「部活動支援(クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等)」が54.1%と最も多くなっています。

5 職場環境についてお聞きします。

- (問 15) 在職している学校(職場)に感じていることは、全体で「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が60.9%と最も多くなっています。小学校、中学校の教職員でも同じ傾向です。

6 教員の方(校長、副校長、養護教諭以外)にお聞きします。

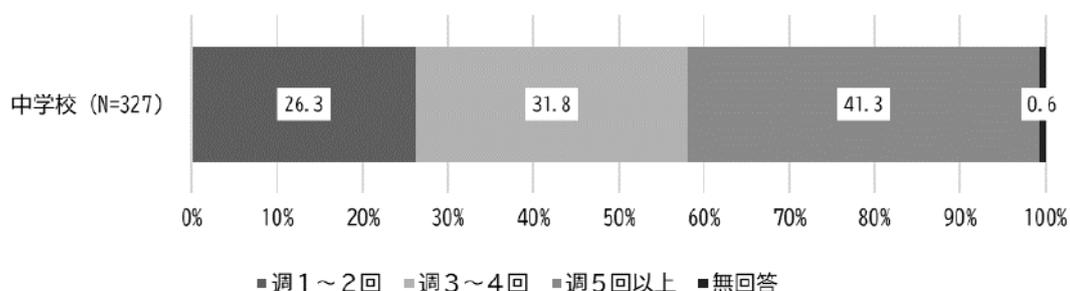
- (問 17) 子どもからの話について傾聴できていると思う教員(「できている」と「だいたいできている」の合計)は、小学校で89.0%、中学校で91.5%です。



- (問 18) 教科指導に必要な知識・技術の習得等、専門性を高める自己啓発の取組を「している」教員は、小学校で82.9%、中学校で80.8%です。

7 ここから、中学校に所属されている方のみにお聞きします。

- (問 20) 中学校教員が部活動の顧問をしている割合は84.3%です。
 ○ (問 20 付問①) 中学校で部活動の顧問をしている教職員の指導頻度は、「週5回以上」が41.3%と最も多く、ついで「週3~4回」が31.8%、「週1~2回」が26.3%で続きます。



5 社会教育関係者調査結果の概要【報告書 第6章】

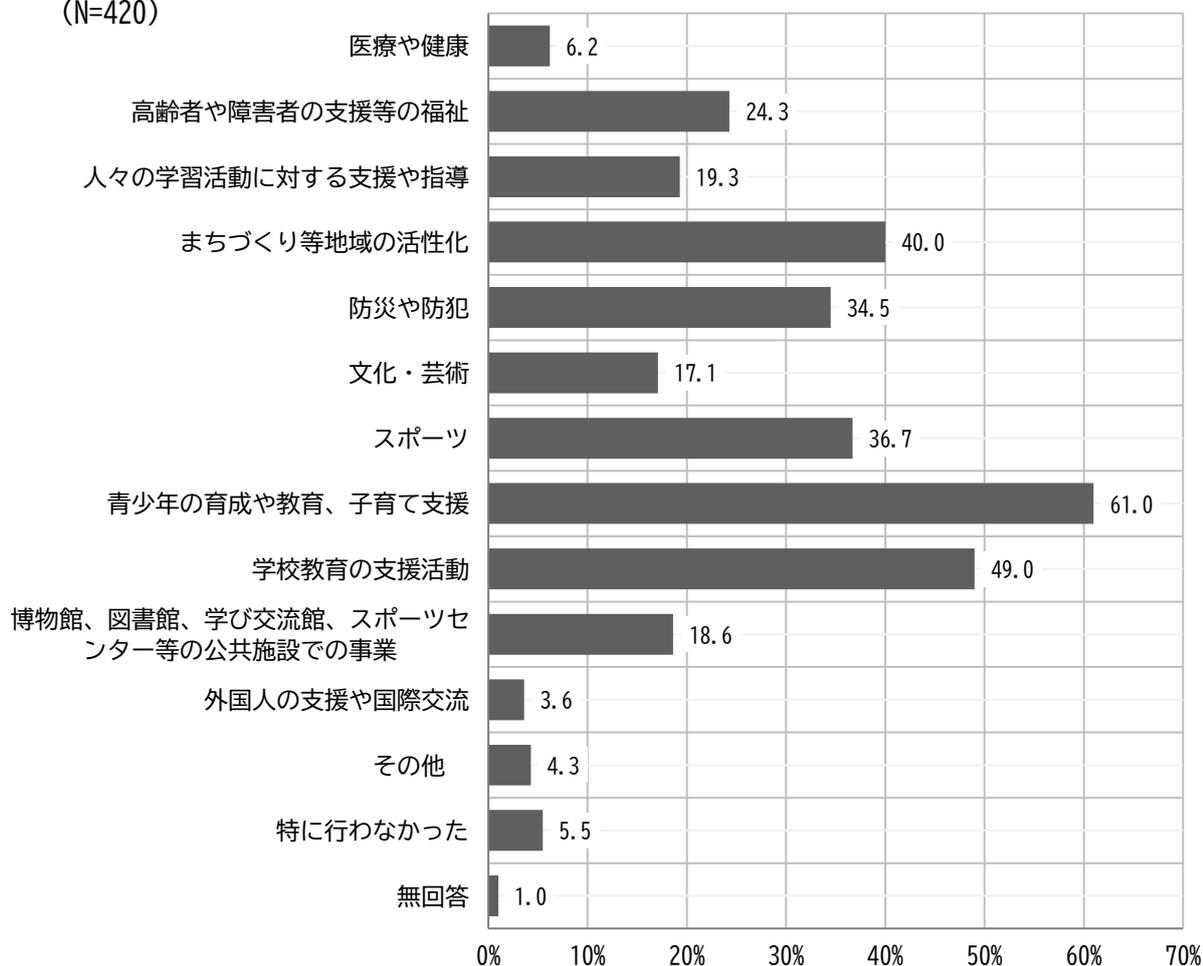
1 あなたご自身のことについてお聞きします。

- (問1) 回答者の年齢は、「60代」が27.1%と最も多く、「50代」が26.4%、「70代」が24.5%で続きます。
- (問2) 回答者の職業は、「無職」が34.5%と最も多く、「会社員・団体職員」が19.8%、「パート・アルバイト」が17.1%で続きます。

2 生涯学習についてお聞きします。

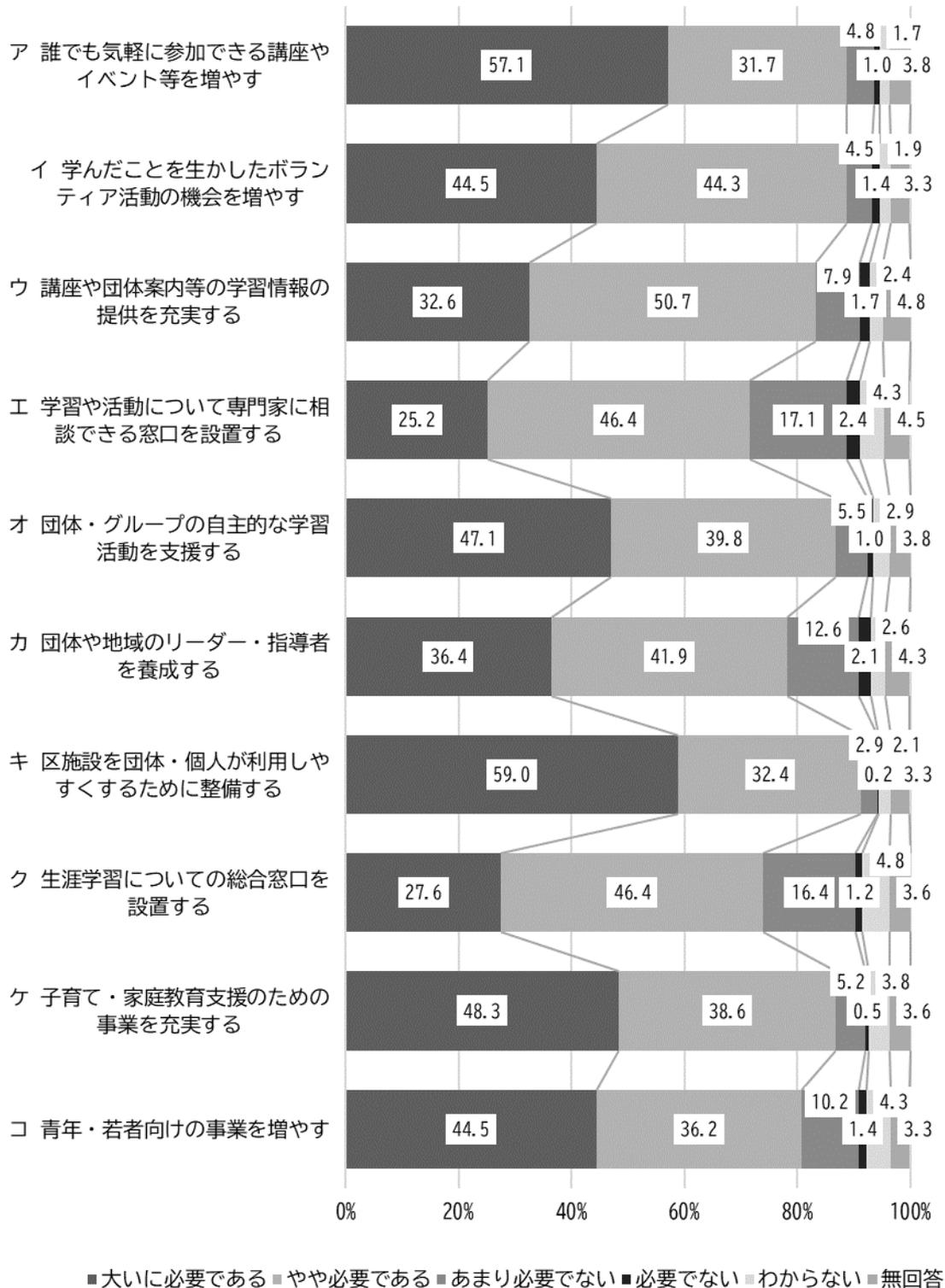
- (問3) 参加した地域活動やボランティア活動は、「青少年の育成や教育、子育て支援」が61.0%と最も多く、「学校教育の支援活動」が49.0%で続きます。1年間に何らかの地域活動やボランティア活動に参加したことがある人は93.5%です。(全体から「特に行わなかった」と「無回答」を除いて算出しました。)

(N=420)



- (問7) 区民の生涯学習が活発になるために「大いに必要である」が5割以上となっている項目は、「ア 誰でも気軽に参加できる講座やイベント等を増やす」(57.1%)と「キ 区施設を団体・個人が利用しやすくするために整備する」(59.0%)です。

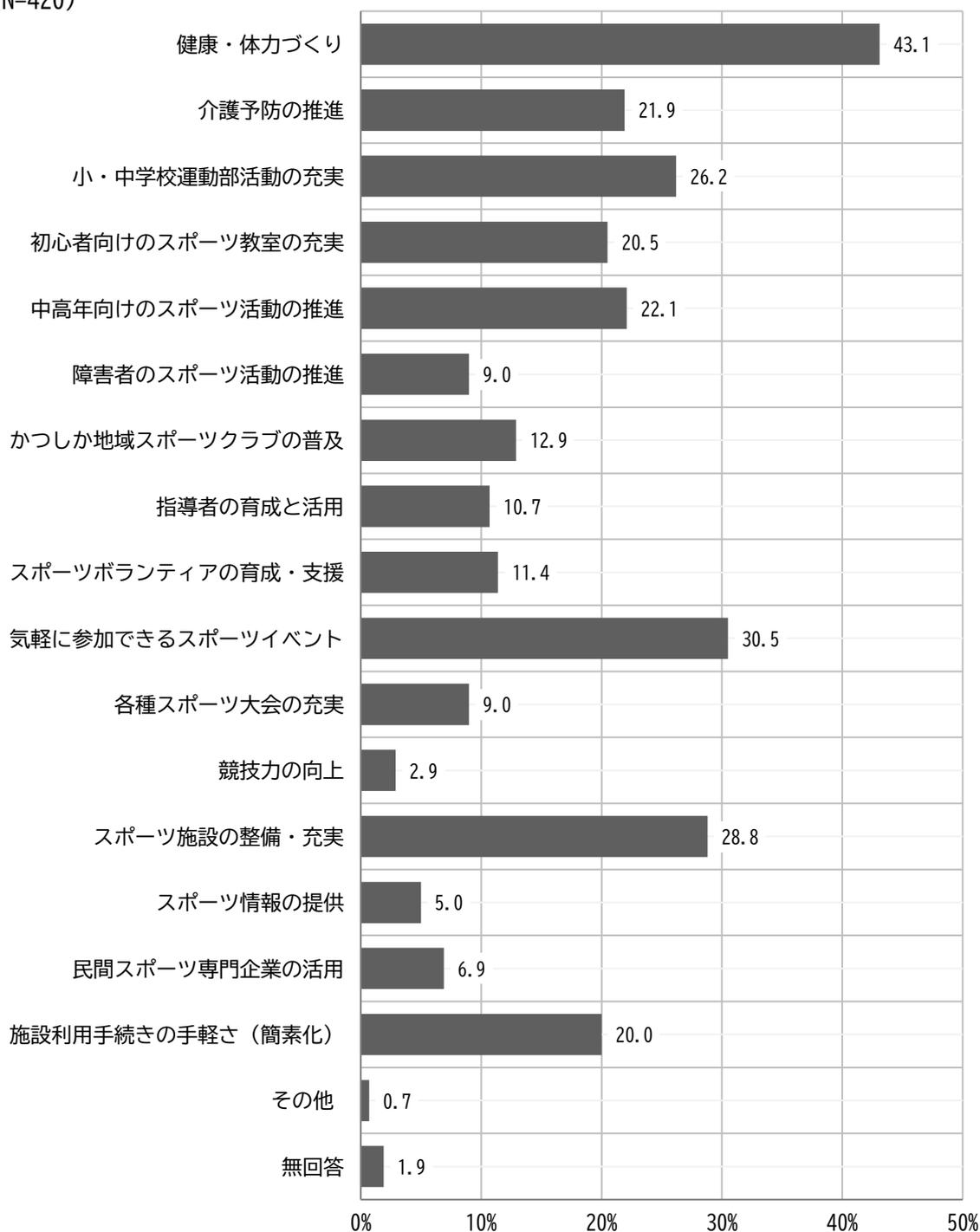
(N=420)



3 スポーツについてお聞きします。

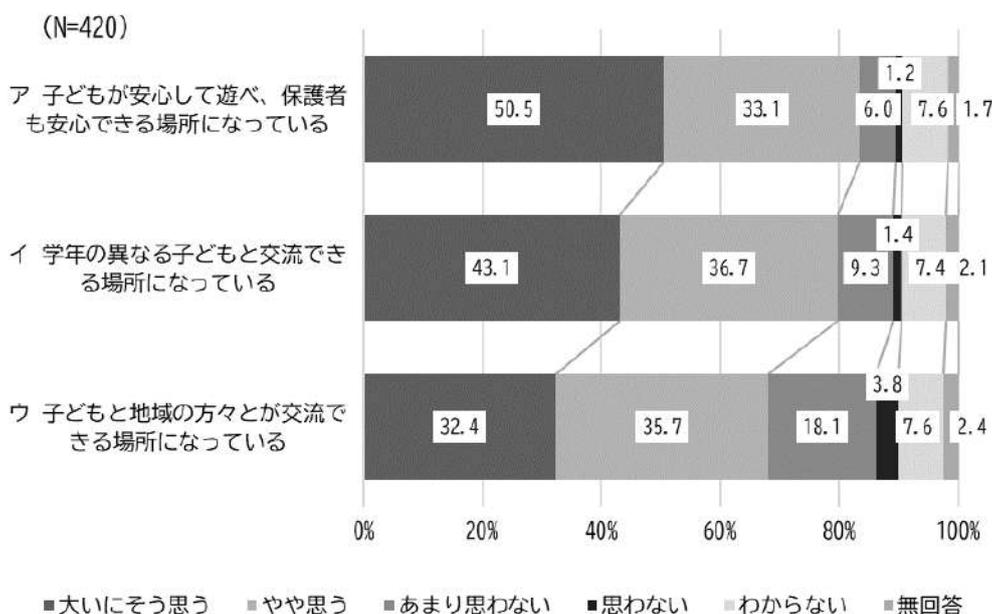
- (問 9) 東金町運動場内のスポーツライミングセンターに特に期待することは、「みんなでスポーツを楽しめる場所」が61.4%と最も多く、「健康を維持するための場所」が40.5%で続きます。
- (問 10) 区民の運動やスポーツ活動を推進するために力を入れるべき区の実施は、「健康・体力づくり」が43.1%と最も多く、「気軽に参加できるスポーツイベント」が30.5%で続きます。

(N=420)

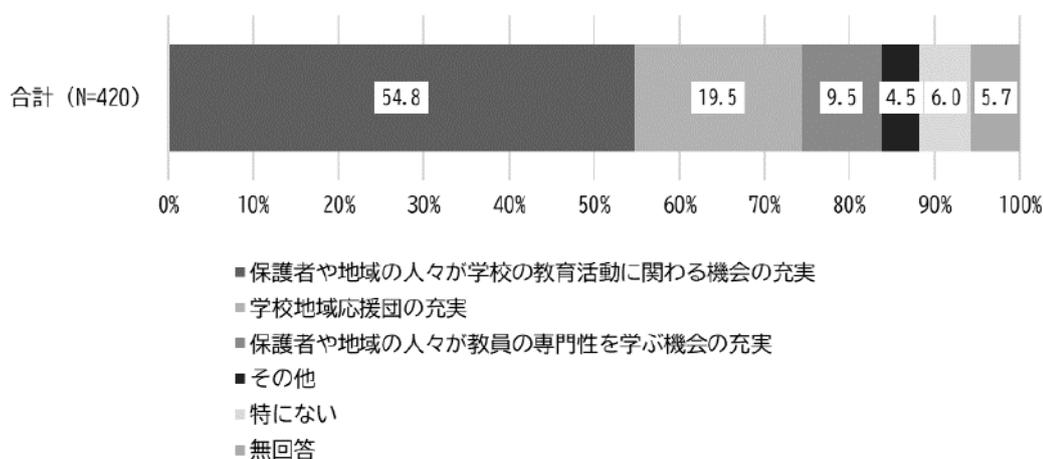


4 区の取組についてお聞きします。

- (問 14) これからの図書館の在り方に特に期待することは、「持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備(有線・無線LAN)」が41.7%と最も多く、「飲食・休憩スペースの設置」が33.1%で続きます。
- (問 15) 「わくわくチャレンジ広場」事業に対する考えは、全ての項目(「ア 子どもが安心して遊べ、保護者も安心できる場所になっている」、「イ 学年の異なる子どもと交流できる場所になっている」、「ウ 子どもと地域の方々とが交流できる場所になっている」)について、肯定的に思っている人(「大いにそう思う」と「やや思う」の合計)が6割台~8割台となっています。



- (問 17) 学校と地域との連携を進めるために特に重要な取組は、「保護者や地域の人々が学校の教育活動に関わる機会の充実」が54.8%と最も多く、「学校地域応援団の充実」が19.5%で続きます。



5 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。

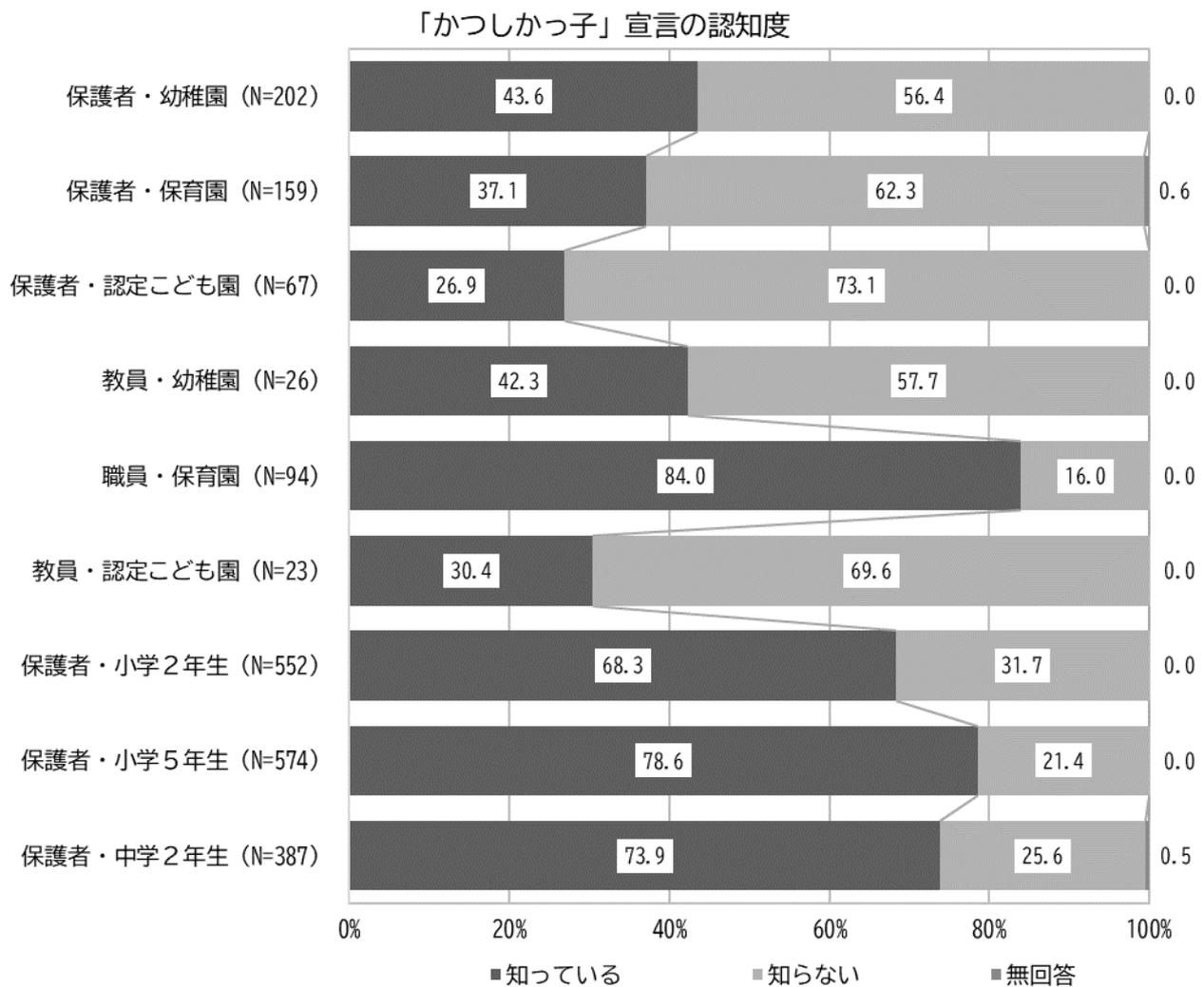
- (問 23) 生涯学習・社会教育の充実を目指す 47 の取組について、①効果の程度、②今後の方向性に対する考えを聞きました。分野毎に、①最も効果のある取組(「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計の最上位)と、②最も充実させたい取組(「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計の最上位)を掲載します。

分野	取組番号	①最も効果のある取組	②最も充実させたい取組
家庭教育	取組 1~5	「5 スクールカウンセラーの設置」73.1%	「5 スクールカウンセラーの設置」75.0%
青少年育成支援	取組 6~8	「6 青少年育成地区委員会支援」62.4%	「6 青少年育成地区委員会支援」65.2%
放課後支援	取組 9~11	「10 学童保育クラブの設置」85.7%	「10 学童保育クラブの設置」81.9%
学校支援	取組 12~13	「13 中学校部活動指導員(者)」72.4%	「13 中学校部活動指導員(者)」72.8%
学習機会	取組 14~22	「18 高齢者健康スポーツ教室」73.8%	「18 高齢者健康スポーツ教室」76.9%
図書館	取組 23~27	「25 読書推進の機会の提供(おはなし会等)」65.2%	「25 読書推進の機会の提供(おはなし会等)」70.5%
区民協働	取組 28~39	「34 葛飾柴又の文化的景観の保存及び活用」73.4%	「34 葛飾柴又の文化的景観の保存及び活用」75.0%
環境整備	取組 40~42	「42 スポーツ施設の利用しやすい環境整備」76.7%	「42 スポーツ施設の利用しやすい環境整備」81.4%
図書館の利便性	取組 43~47	「44 図書返却ポスト及び図書サービスカウンターの設置」77.4%	「44 図書返却ポスト及び図書サービスカウンターの設置」78.3%

Ⅲ 分析編（報告書 第7章の概要）

1 「かつしかっ子」宣言の認知度

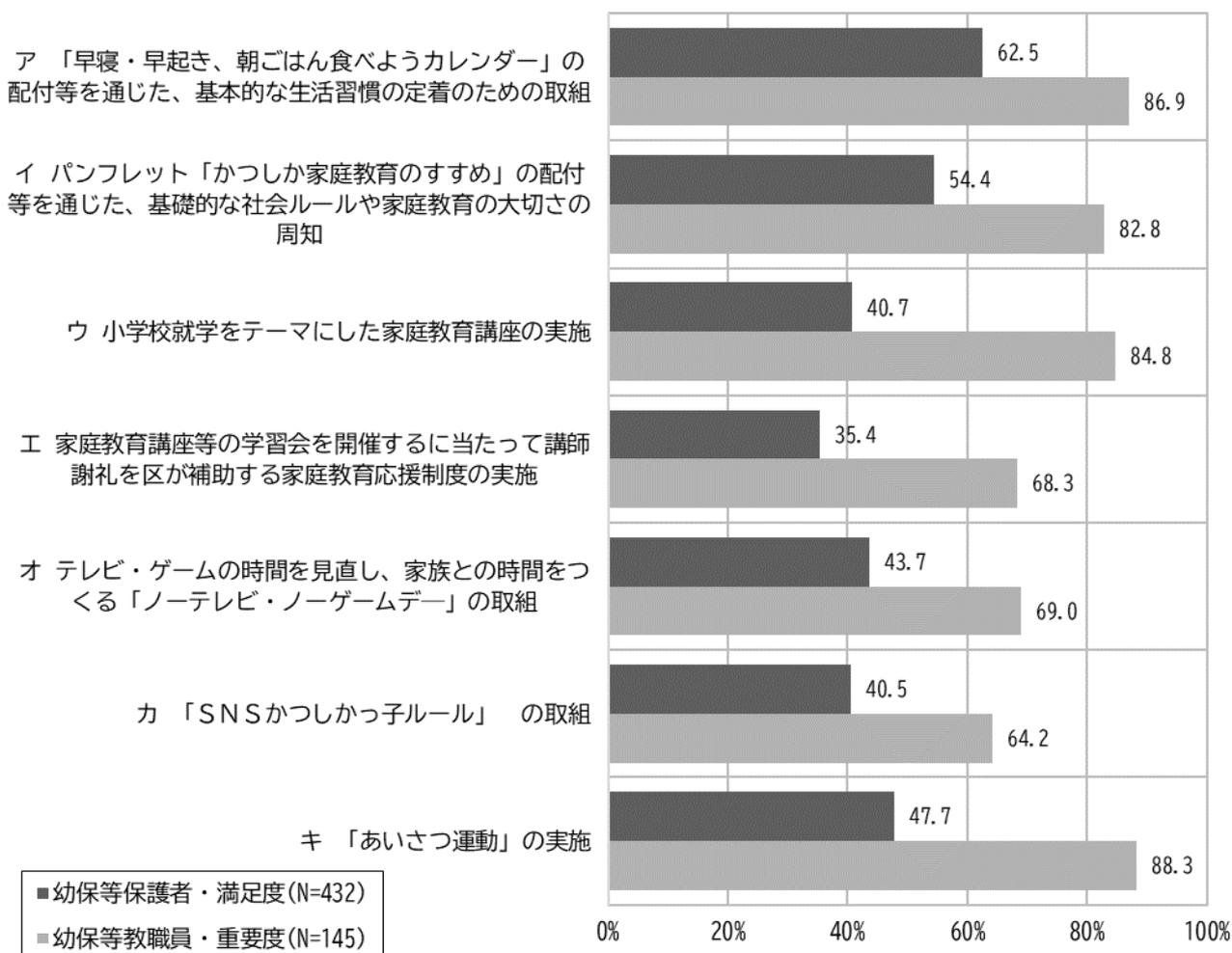
- 「かつしかっ子」宣言の認知度について、「幼稚園・保育園等保護者調査（問16）」、「幼稚園・保育園等教職員調査（問4）」、「区立小・中学生保護者調査（問12）」を比較しました。
- 保育園の職員、小学2年生・小学5年生・中学2年生の保護者では、「かつしかっ子」宣言を知っている人の方が多くなっています。一方、幼稚園・保育園・認定こども園の保護者、幼稚園・認定こども園の教員では、「かつしかっ子」宣言を知らない人の方が多くなっています。



2 家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）

- 家庭教育の充実に関して、「幼稚園・保育園等保護者調査（問8）」で満足度（「満足」と「まあ満足」の合計）を、「幼稚園・保育園等教職員調査（問6）」で重要度（「重要」と「まあ重要」の合計）の調査結果を項目ごとに比較しました。
- 保護者の満足度では、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が62.5%と最も多く、ついで「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」が54.4%で続きます。
- 教職員の重要度では、「キ 「あいさつ運動」の実施」が88.3%と最も多く、ついで「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が86.9%で続きます。
- 保護者の満足度と教職員の重要度との差が大きい「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」や「キ 「あいさつ運動」の実施」などにさらに力を入れることが考えられます。

家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）

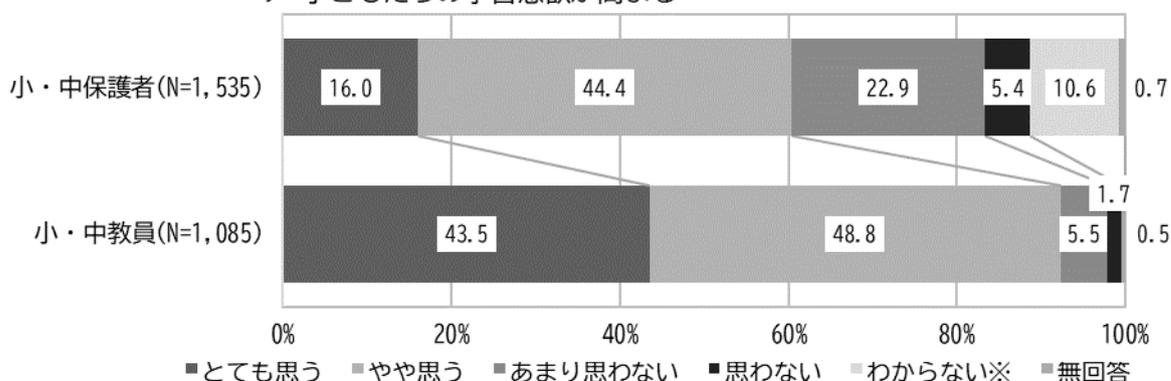


3 ICT機器の導入効果（小・中学校）

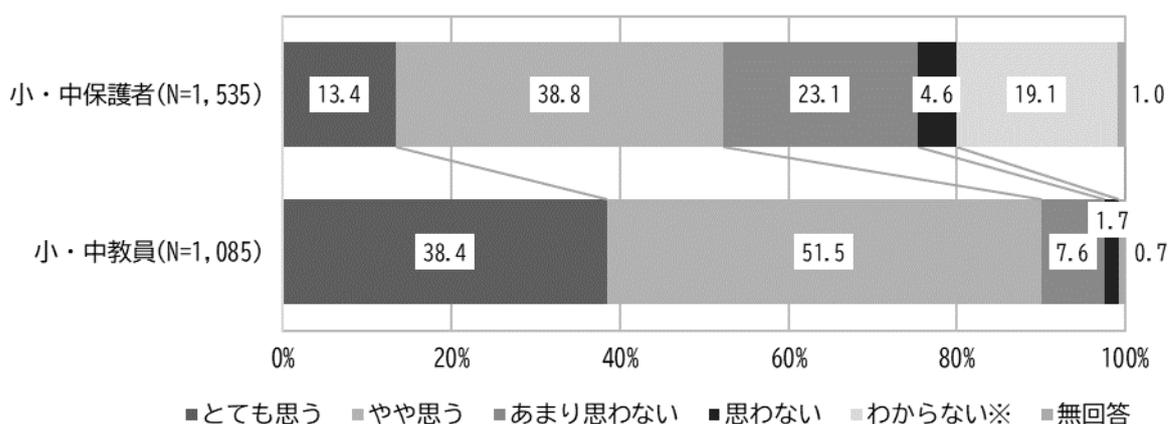
- ICT機器の導入効果について、「区立小・中学生保護者調査（問 22）」と「区立小・中学校教員調査（問 10）」の調査結果を項目ごとに比較しました。なお、教員調査に「わからない」の選択肢はありません。
- ICT機器の導入によって子どもたちの学習意欲が高まると感じているか、授業方法が改善されると感じているかをみると、両設問に共通の傾向として、保護者、教員ともに「やや思う」が最も多くなっています。ついで、保護者は「あまり思わない」が多く、教員は「とても思う」が多くなっています。
- 保護者、教員ともに全体ではICT機器の導入効果を実感していますが、その効果の程度の捉え方に違いもみられます。

ICT機器の導入効果 小・中保護者と小・中教員の比較

ア 子どもたちの学習意欲が高まる



イ 授業方法が改善される

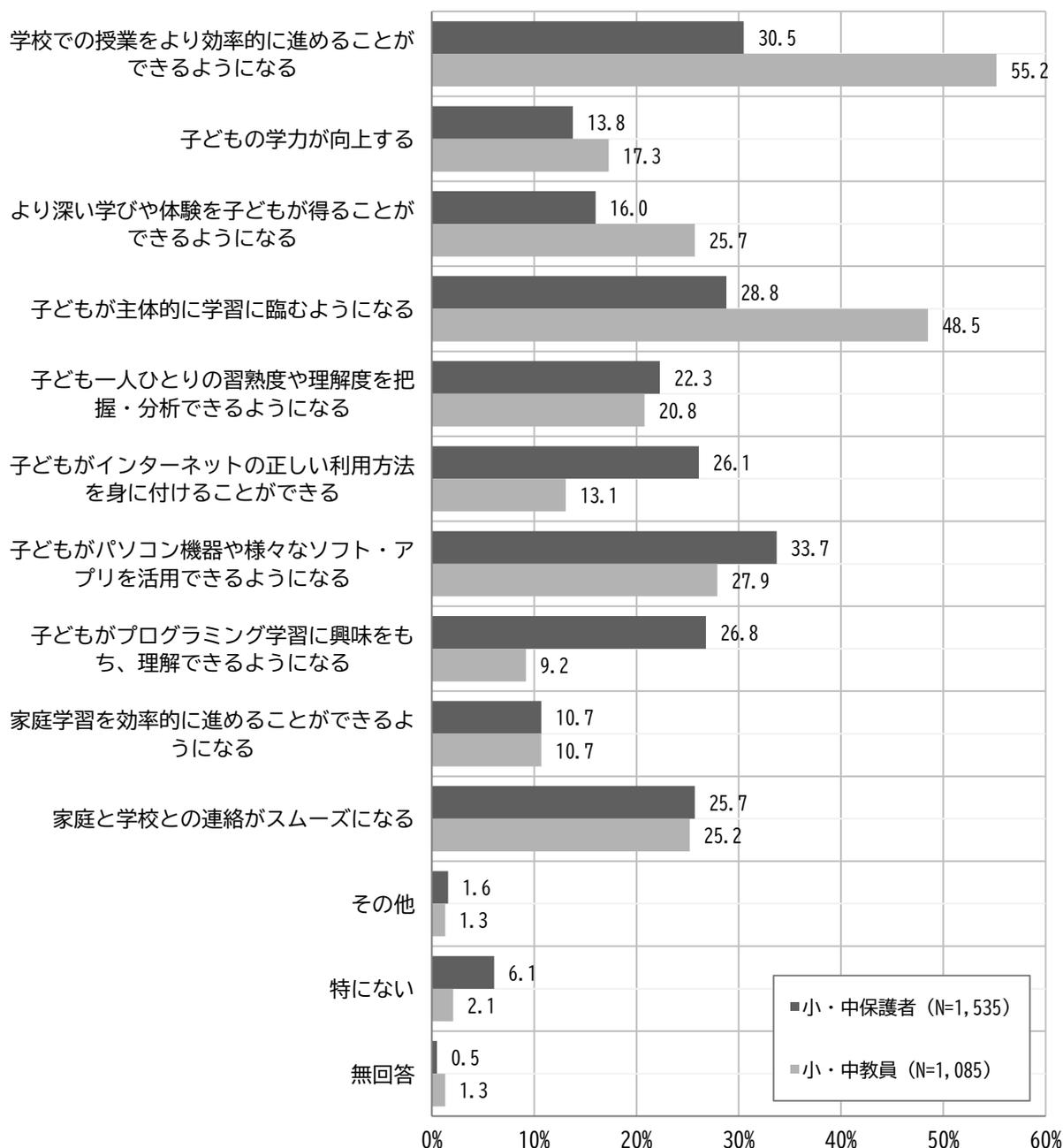


※小・中教員アンケートのア、イの選択肢に「わからない」はない

4 ICT活用に期待する効果（小・中学校）

- ICT活用に期待する効果について、「区立小・中学生保護者調査（問 23）」と「区立小・中学校教員調査（問 11）」の調査結果を項目ごとに比較しました。
- 保護者は「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」、「子どもが主体的に学習に臨むようになる」を上位に挙げています。
- 教員は「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」と「子どもが主体的に学習に臨むようになる」の2つを特に期待しています。
- 保護者、教員ともに期待する効果は共通しています。ただし、今後のICT活用を進めるにあたっては、期待する割合に大きな差がある点に留意する必要があります。

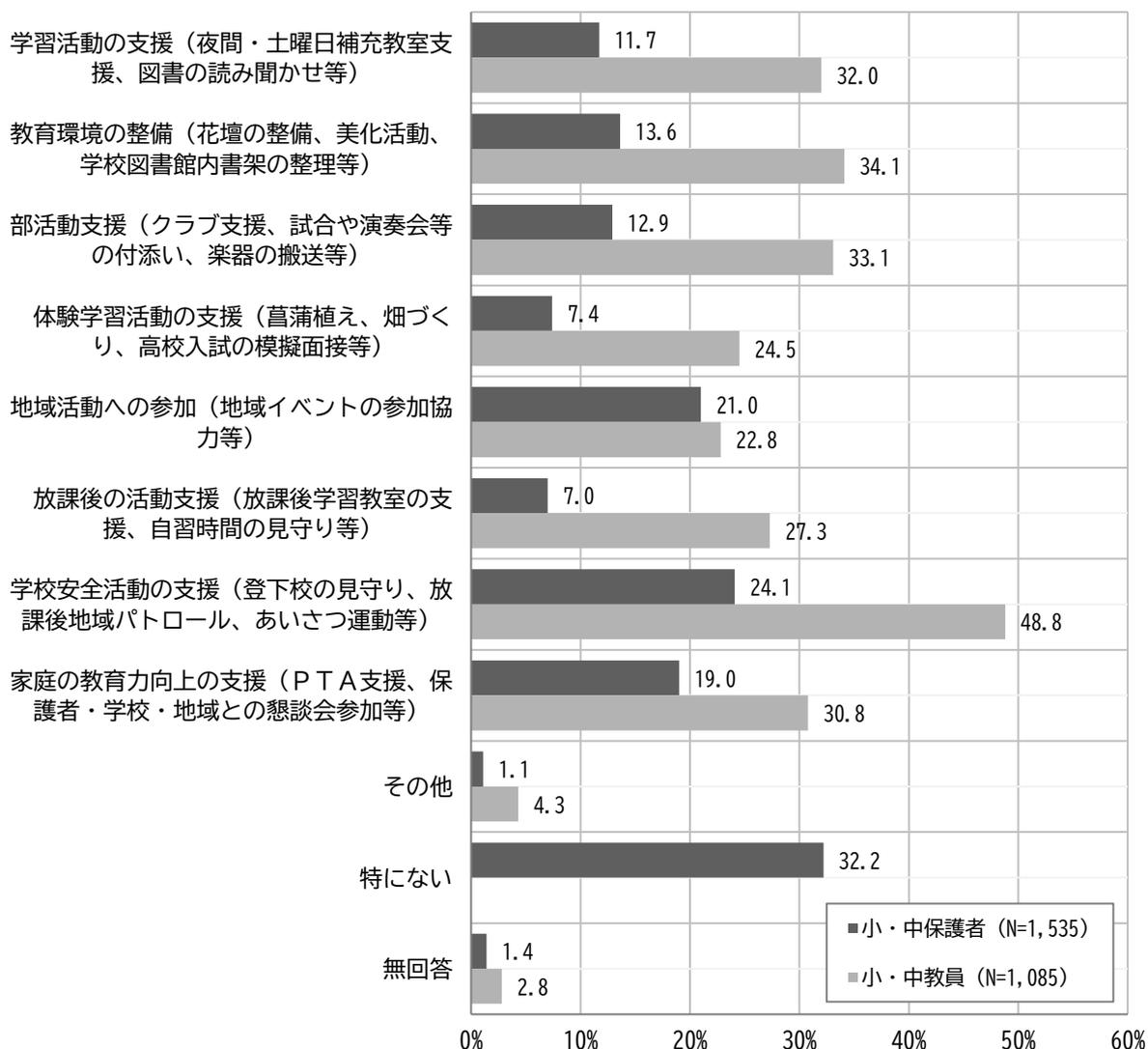
ICT活用に期待する効果 小・中保護者と小・中教員の比較



5 学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待

- 学校と地域との連携について、「区立小・中学生保護者調査（問 20）」と「区立小・中学校教員調査（問 14）」の調査結果を項目ごとに比較しました。なお、教員調査に「特にない」の選択肢はありません。
- 小・中学生の保護者の意欲と教員からみた期待を比較すると、割合に差はあるものの、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」に対する意欲と期待が最も多く、両者の意識は一致しています。
- その他の項目をみると、保護者は「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」や「家庭の教育力向上の支援（PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」等への意欲が高い一方、教員は「学習活動の支援（夜間・土曜日補充教室支援、図書の読み聞かせ等）」、「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」、「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」などへの参加を期待しており、保護者の参加意欲と教員の期待する活動に違いもみられます。

学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待



※小・中教員アンケートの選択肢に「特にない」はない